



Epredia SlideMate Pro

操作ガイド

A83910103JP 第3版 | 2020年01月

私たちのミッションは、がん診断の強化による生活の向上です。

Eprediaの社員全員にとってこのミッションはパーソナルなものです。私たちの多くはがんによって影響を受けた大切な人や家族がいます。

あなたはこの戦いの最前線にいます。私たちの誓いはこの病気の早期発見と診断を実現する最も画期的なツールを武器として提供することです。

詳細はepredia.comをご覧ください



会社情報

Copyright 2014. Pyramid Innovation Ltd. All rights reserved.
Pyramid Innovation Ltdは、ISO 9001:2015認定済みの企業です。「Pyramid Innovation Ltd」は、Pyramid Innovation Ltdの商標名です。

その他すべての商標はPyramid Innovation Ltdおよびその子会社の資産です。

Pyramid Innovation Ltdは、同社が刊行するサポート資料に含まれる情報が正確かつ明確に記載されていることを保証するためにあらゆる努力をしますが、いかなる誤りまたは省略についても責任を負いません。Pyramid Innovation Ltdの製品およびサービスの開発は継続して行われます。参照用の公開情報が最新のものであり、製品の状態に関連していることを確認してください。必要な場合は、Pyramid Innovation Ltdまたは現地のPyramid Innovation Ltd担当者にお問い合わせください。

Pyramid Innovation Ltdの書面による事前の同意なしに、本マニュアルの全部または一部をコピー、写真複写、複製、翻訳、または他の電子機器または機器で読み取り可能な形式に変換することはできません。

本マニュアルに含まれるすべての情報は占有情報および機密情報であり、Pyramid Innovation Ltdの独占的財産です。本マニュアルは著作権により保護されており、複製は禁止されています。本マニュアルは、Pyramid Innovation Ltdから使用を許可された個人のみが使用するためのものです。

連絡先



Pyramid Innovation Ltd

Unit E4 Chaucer Business Park, Dittons Road

Polegate, East Sussex, BN26 6QH, UK

電話番号：+44 (0) 1323 406650

Webサイト：www.pyramidinnovation.com

販売代理店

Shandon Diagnostics Limited (Eprediaの商号で取引します)

Tudor Road, Manor Park, Runcorn

Cheshire, WA7 1TA, UK

電話番号：+44 (0) 1928 534 000

Fax +44 (0) 1928 534 001

Webサイト：www.epredia.com.



本機器は以下の基本要件に適合します。

- 欧州低電圧指令 (European Low Voltage Directive)
) 2006/95/EC

記号

本機器および本文書では、次の記号および慣行を使用することがあります。



この記号は、本機器または本文書内で使用されており、安全で正しい操作のために指示に従う必要があることを示します。この記号が機器に表示される場合は、常にオペレーターガイドを参照してください。



この記号は、有害な化学物質が機器で使用されていることを警告するために、本機器または文書で使用されます。使用する化学物質については、製品安全データシートを参照してください。常識に従い、現地の実験室の検査手順に注意して行動してください。適切な予防措置を講じてください。



メーカー

人身傷害もしくは機器またはサンプルの損傷の危険がある場合は、本文書中で警告が示されます。

注記

注記には、ジョブまたは指示に関する捕捉情報が提供されていますが、指示の一部を構成するものではありません。

コンテンツ

会社情報 4

記号	4
連絡先	4
販売代理店	4

コンテンツ 5

EMC 適合宣言書	7
-----------------	---

安全に関する情報 8

はじめに	8
一般的安全性	8
化学物質の取り扱いに関する安全規則	9
環境	9
保証宣言書	9

本ガイドの使用方法 10

はじめに	10
装置の配置	10
推奨される清掃方法	10
操作を始める	10
プリンタの操作	10
プリンタの構成	10
操作を始める	10

第 1 章 – 設置とセットアップ 11

部品の特定	11
背面パネルおよび接続部	11
スキャナ	12
プリンタの操作	12
リボンメーター	13
リボンの交換	13
スライドの装填	14
スライドの選択	15

第 2 章 – メインユーザーインターフェース 16

ユーザーモード – 新規ユーザーの追加	16
ユーザーログイン	17
ユーザープロパティ	18

ユーザー制御	19
ログオンタイムアウト	19
ホーム画面	19
スライドの印字	21
スライドディスペンサーの操作	21
スライドの一括印字	22
逆順で印字する	22
スライドキュー数量	23
キュー内のスライドの削除	23
[設定]メニュー	23
[概要]メニュー	24
[日付と時刻]メニュー	24
[表示]メニュー	25
スクリーンショット	25
[インターナショナル]メニュー	26
言語	26
[キーボード]メニュー	27
[ネットワーク]メニュー	27
[IP アドレス]	28
[MAC アドレス]	28
[名前]	28
[ハブに接続]	28
[データポート]	28
[プリンタ]メニュー	29
[インデックステープ]	29
[プリンタのリセット]	29
[セットアップパスワードをオンにする]	29
[自動印字オン]	30
[インテリジェントスライド選択] (ホッパ ー選択)	30
[空の左ホッパーを使用する]	30
[ソフトウェア]メニュー	31
ソフトウェアのアップグレード	31
構成ファイル	33
プリンタのユーザー構成のエクスポート (XML)	34
プリンタのユーザー構成のインポート (XML)	35

[音声]メニュー	36
Windows プリンタセットアップ	37
[構成]メニュー	37
[データ]メニュー	38
[エクスポート]	38
[インポート]	38
標準ラベルデザインのセットアップ	40
[アイテム]メニュー	41
トランスレーター	43
トランスレーターの追加 – 区切りデータ	44
[トランスレーター]メニュー	45
[アイテム割り当て]	46
[トランスレーターのプロパティ]メニュー	48
区切り文字	48
[割り当て順]	49
[固定長トランスレーター]	50
トランスレーターの追加 – 固定長データ	50
[データ文字列を分割する]	52
[テンプレート]	55
新規テンプレートの作成	55
テンプレートの編集	57
アイテムをテンプレートに追加	58
バーコードをテンプレートに追加	59
[テンプレート設定]	60
高度な印字機能	61
テンプレートエディタ	61
スライドシーケンスの作成	62
プロトコルの作成	64
高度なホッパー機能	70
トランスレーターの ルール	71
トラブルシューティング	81
印字品質	81
スライド要件	83
リボンの燃焼 – 考えられる原因	83
印字ヘッドのクリーニング	84
印字ヘッドの修理プロセス	84
定期メンテナンス	85
エラーメッセージ	85
リボンインデックスのエラー	85

スライドの取り扱いのエラー	86
トラブルシューティング表	91
アイコンの説明	92
ボタンの説明	93
プリンタの仕様	94
消耗品およびアクセサリ	94
クリーニングとメンテナンス	95
SlideMate Pro の推奨メンテナンススケジュールは以下の通りです。	95
毎日のメンテナンス	95
毎週のメンテナンス	95
必要時	95

付録 96

付録 A – 承認済みのスライド	96
説明	96
付録 B – Windows ドライバーのセットアップ	97
Windows プリンタセットアップ	97
Windows プリンタを手動でインストールする	97
自動プリンタインストーラーを使用する	97
Pyramid Innovation Ltd Windows ドライバーを使用して印字する	99
イメージファイルの印字	99
Zebra のフォーマットファイルを使用して印字する	99
区切り文字テキストファイルを使用して印字する	100
その他の Windows プリンタドライバを使用して印字する	101
Zebra のフォーマットファイルを使用して印字する	101
Zebra EPL 形式のファイルを使用して印字する	101
SlideMate Images (LabWriter)	102

索引 103

EMC 適合宣言書

本装置は、EN 61326-1:2013の放射および電磁波耐性要件を満たします。

本装置は、CISPR 11クラスA向けに設計、検査されています。

本装置は、訓練を受けた有資格の専門家による実験室環境での使用を目的としています。家庭環境では無線干渉を引き起こす可能性があるため、家庭環境で使用する場合は、干渉を緩和するための対策を講じる必要があります。



強い電磁放射が適切な動作を妨げる可能性があるため、本機器は強い電磁放射の近くで使用しないでください。本装置を操作する前に電磁環境を評価する必要があります。

安全に関する情報

はじめに

Pyramid Innovation Ltd製の機器は、有用かつ信頼できるサービスのために設計されています。ただし、ユーザーが不適切に使用したり取り扱ったりすると、機器が損傷したり健康を害したりする可能性があります。

問題や質問がある方は、Eprediaのサービス部門にお問い合わせください。



以下のセクションには、本機器の安全なセットアップと使用に関する重要な情報が含まれており、使用前に読んで理解する必要があります。

一般的安全性



本機器は、納入時点で、IEC61010-1 : 2010に準拠しています。ただし、化学物質の追加は潜在的な危険をもたらします。これらの化学物質を取り扱う際には、適正な実験室内の慣行を採用し、危険の可能性を考慮しなければなりません。



特別な指示がない限り、パネルやアクセスカバーを取り外さないでください。ユーザーは本機器の部品を修理してはいけません。本機器の内部には、致命的となる恐れがある電圧がかかっています。



本機器は、付属の電源アダプタと着脱式の電源コードを使用して、主電源にのみ接続します。交換用の電源アダプタについては、お近くの販売店にお問い合わせください。



本機器は、メイン入力電源を介して適切な接地（アース）配線しておき、ソケットからプラグを取り外すことで主電源を遮断できるように配置する必要があります。



本機器の内部部品については、工場で承認されたアクセサリまたは交換部品のみを使用してください。



本機器がPyramid Innovation Ltdが指定する使用方法に従わず使用されると、本機器に備わっている保護機構が損なわれる可能性があります。



問題や質問がある方は、ご利用のEpredia販売代理店にお問い合わせください。



一貫したパフォーマンスを発揮させるために、必ず正しいメンテナンス作業を行ってください。そのために、当社サービス部門とのメンテナンス契約を結ぶことを推奨します。



必要なメンテナンス作業またはサービスは、訓練を受けた者のみが実行できます。



本機器は、直射日光が当たらない適切な水平の場所に置いてください。

お手入れの際は、本操作ガイドで推奨される洗浄剤のみを使用してください。

化学物質の取り扱いに関する安全規則

化学物質を使用すると、潜在的な危険が生じます。Pyramid Innovation Ltdでは、実験室で使用する揮発性化学物質の対象に関して次の立場を取ります。



有害な化学薬品や溶剤を使用して本機器を清掃しないでください。

作業者は、使用する化学物質の特性を詳述する仕様書の内容を完全に認識してください。

作業者は、使用する化学物質の法的に必要な評価を実施し、優れた実験室の慣例を実践してください。

環境

本機器は、欧州連合における電気電子機器廃棄物（WEEE）のDirective 2012/19/EUに準拠する必要があります。このことは、以下の記号で示されます。



製品寿命の終了時に、現地の規制に従ってリサイクルする必要があります。交換品が購入された場合、自治体の回収施設または小売店に返却できる場合があります。該当する場合、その施設は製品販売店によって指示されます。

上記の指令に対するPyramid Innovation Ltdの準拠の詳細、お住まいの国のリサイクル業者、およびRoHS指令の対象物質の検出に役立つPyramid Innovation Ltd製品に関する情報は、販売代理店で入手できます。

保証宣言書

Pyramid Innovation Ltdは、自社製品の品質、信頼性および販売後のサービス提供が優れていると自負します。弊社はお客様へのサービスの改善に継続的に努めています。

本機器を最適な動作状態に維持するのに役立つサービス契約については、販売代理店にお問い合わせください。

国および地域の法律の違いに応じて、保証規定は必然的に異なります。詳細情報は納品書を読むか、ディーラーまたは担当者から入手できます。

以下の場合には保証が無効になる場合がありますのでご注意ください。

- 本機器に何らかの改造が施されている、もしくはPyramid Innovation Ltdが意図する方法以外で使用されている。
- Pyramid Innovation Ltdが承認していないアクセサリおよび試薬が使用されている。
- 本機器が説明に従って操作または保守されていない。
- Eprediaが認定する担当者により本機器の設置作業が行われなかった。

本ガイドの使用方法

はじめに

本プリンタは、有色フロスト付き実験用ガラススライドに直接印字するように設計されています。操作者は、印字する情報の精度を確認する責任を負います。



推奨品以外のスライドを使用すると、本機器に修復不能な損傷が生じる可能性があります。推奨されるスライドの一覧については、[付録A](#)を参照してください。

装置の配置

設置位置が本機器に適した環境であることを確認してください。本機器は、必ず安定した平面の、台の端から離れた場所に配置してください。

推奨される清掃方法

水分を含んだ柔らかい布またはペーパータオルに中性洗剤を付けて汚れを拭き取ってください。

操作を始める

開梱から実験用スライドを印字するまでの手順を説明します。

プリンタの操作

スライドの作成と印字の手順を説明します。

プリンタの構成

様々なプリンタ設定と構成オプションについて説明します。

操作を始める

適切な主電源コードを電源アダプタに接続します。

丸型24Vプラグをプリンタ背面の電源ソケットに差し込みます。

電源コードのプラグを壁ソケットに差し込みます。

プリンタの背面にある電源スイッチを「ON」に切り替えると、プリンタの電源が入ります。

内部メカニズムが正しく動作していることを確認する初期化プロセスをプリンタが実行するのを待ちます。

第1章 – 設置とセットアップ

部品の特定

下の図は、SlideMate Proの各構成部品を示しています。

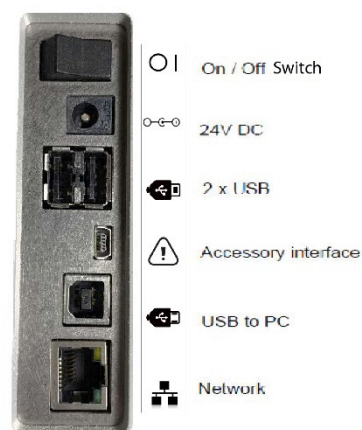


- A ホッパー（左側）
- B ホッパー（右側）
- C タッチディスプレイ
- D スライド回収シュート
- E 主電源アダプタ
- F バーコードスキャナ
- G 接続部および入力電源

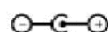
背面パネルおよび接続部

本プリンタの背面には、24v DC電源アダプタを含む接続部が複数付いています。

信号接続は、IEC 61010-1の条項6.3の要件またはIEC 60950-1、2014のSELV要件を満たす機器への接続にのみ適しています。



右側に押すと電源がオンになります。左側に押すとプリンタの電源がオフになります。



供給された電源アダプタまたは指定の24v電源アダプタにのみ接続してください



外付けキーボードまたはUSBドライブに接続するためのUSB 2ポート



プリンタ制御式アクセサリの接続に使用



Windowsドライバーを実行しているPCにプリンタを接続するために使用



プリンタをPCまたはネットワークポイントに接続するために使用。

スキャナ

バーコードスキャナはスライドプリンタの左前端の下に取り付けられており、スキャナの使用中は目の保護を必要としない特別なLED光源を使用します。スキャナには、スキャン機能と照明を作動させる特別なモーションセンサーが付いています。

センサーが一定期間作動しないと、照明は消灯し、スキャナの下領域が暗くなります。スタンバイモードの場合、モーションセンサーは領域の読み取りを継続し、設定に応じて終了します。

スキャナは、デフォルトでDataMatrixコード、QRコード、Code128バーコードを読み取るようにプログラムされています。また、他のコードの読み取りを有効にすることもできます。詳細については、お近くの販売店にお問い合わせください。

プリンタの操作

プリンタは、プリンタディスプレイに現在表示されているスライドラベルイメージを印字するように設計されています。ユニットの前面には、高解像度タッチスクリーンディスプレイがあります。ユニットを操作するには、画面の特定の領域を押してボタンと機能を有効にします。これらの機能は分かりやすいようにデザインされています。

バーコードスキャナは、プリンタの左前隅に内蔵されています。スキャナは動作を検知すると起動し、薄い緑色のバー照明をテーブル表面に投影します。このバーは、バーコードからプリンタソフトウェアにデータを読み込むためにバーコードを配置する領域を示すLED照準器です。紙または他のオブジェクトに印刷したバーコードを、デコード処理のためにスキャナの下に置くことができます。バーコードスキャナは特定の記号のみを意図的に読み取ります。デフォルトでは、DataMatrix、QR、およびCode128がデコード処理されます。



スライドを印字する前に、ホッパーにスライドを入れる必要があります。承認されている種類のスライド一覧は、本オペレーターガイドの後半に記載されているのでそちらを参照してください。

スライドは、ホワイトライティング面を上にして、ユニットの背面側に向けてセットしてください。スライドが正しく装填されると、ホッパー内に水平に入ります。ホッパーの両側には、装填を容易にするフィンガースロットがあります。

プリンタの作動中はスライドを装填しないでください。

スライドを印字するには、表示されているスライド画像のクリア領域で[実行]ボタン (▶) を押します。



スライドを印字する前に、スライドドアが閉位置になっていることを確認してください。

内蔵ソフトウェアを使用すると、以下の操作が可能です。

- 個々のスライドの印字
- 複数枚のスライドのシーケンス作成と印字
- スライドデータの編集
- スライドの印字に使用する温度の変更

様々なフォントとバーコードタイプを選択することで、オリジナルのテンプレートをデザインできます。

- 自動的に増分するようにフィールドを設定
- スキャンされたバーコードまたは LIS 入力からデータを受信するためのセットアップテンプレート
- スライドシーケンス内のスライドの編集と削除
- スライドシーケンス内のスライドを個別に印字
- スライドシーケンスを再利用のためにプロトコルに保存

SlideMate Proは、以下の入力手段によるスライドを印字することができます。

- 外部ソフトウェアまたプログラムを使用してデザインしたラベルイメージ
- 必要なデータをキャプチャするためにスキャナを使用する、内部でデザインしたラベル
- LIS または外部ソースが元のデータファイルを使用する、内部でデザインしたラベル



リボンメーター

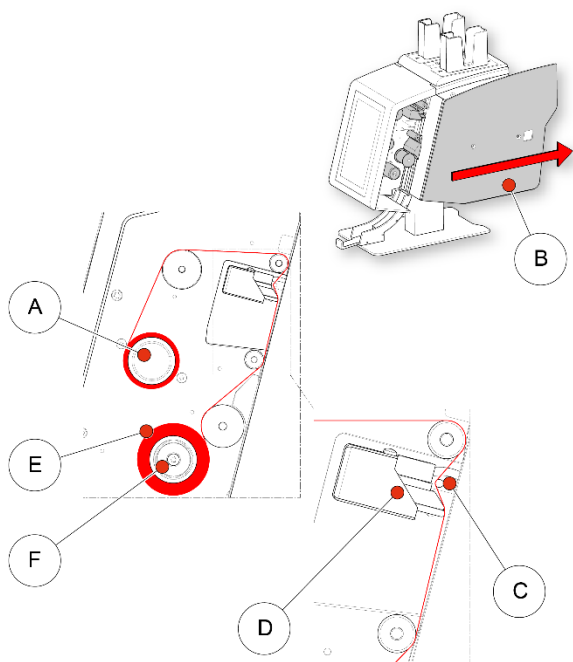
[リボンメーター]アイコンは、プリンタのステータスバーにあります。このメーターは、供給スプールに残っているリボンのおおよその長さを示します。リボンメーターには3種類の表示があります。供給状態が満杯～残量低下の間の場合は、表示は緑色になります。残量が低下と、黄色のバーが2本表示されます。残量がなくなりかけると、赤色のバーが1本表示されます。

リボンの交換

初期状態のプリンタには、SlideMate Pro内に事前に装填されているリボンが1つ付属しています。新しいリボンが必要になるまでに、リボンは約12,000枚のスライドを印字できます。



芯が赤色の正しいリボンのみを使用してください。リボンが正しい向きで装填されるように、リボンの赤い芯の面が外側を向いていることを必ず確認します。他のプリンタリボンを使用すると、スライドプリンタが損傷したり、スライドラベルIDが読み取れなくなる可能性があります。Pyramid Innovation Ltdの熱転写リボンで使用されるインクは、アルコールとキシレンを含む標準的な実験で使われる化学物質に耐性があります。リボンを交換するには、古くなったリボンとスプールを取り外します。次の図に示すように新しいリボンを取り付け、プリンタに送給します。



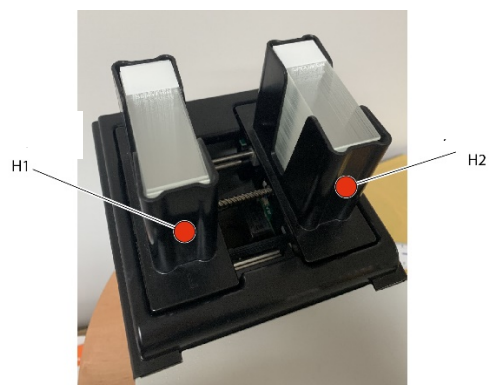
- A リボンマット側
- B スライドドア
- C リボンガイドピン
- D 印字ヘッド
- E 回収スプール
- F 供給スプール

スライドの装填

SlideMate Proは2つのオンボードスライドホッパーと1つの手動装填位置を選ぶことができます。使用前に、2つのオンボードスライドホッパーにスライドを装填する必要があります。

スライドホッパー1つに約72枚のスライドを装填することができます。スライドをホッパー上部よりも高く積み重ねないでください。高く積みすぎるとスライドが上部から落ちる可能性があります。スライドホッパーはSlideMate Proの上部に取り付ける必要があります。2つのスライドホッパーは同じ形状をしており、プリンタの左側と右側に配置できます。ホッパーの2つの平面には、正しい方向を示す「L」と「R」のマークが付いています。

「L」が前方を向いている場合、ホッパーを左のディスペンス位置に取り付けることができます。「R」が前方を向いている場合、ホッパーを右のディスペンス位置に取り付けることができます。



スライドをホッパーに装填する方法は以下の通りです。

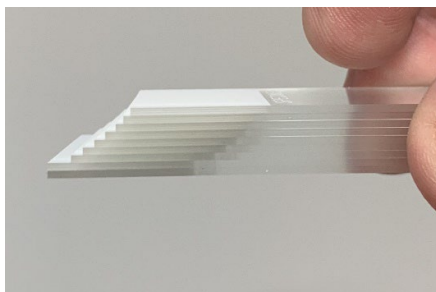
注記

スライドを取り扱うときは手袋を装着し、十分に注意して取り扱ってください

注記

組織切片が載ったスライドを装填することは推奨されません

1. スライドを約 10 枚取り、スライドの塗装された端が上を向くようにします。
2. 下の画像のように積み重ねたスライドに角度を付けて傾けます



3. 白い端部が最初にホッパーの底部に接触するように、積み重ねたスライドを少し下に角度を付けて降ろしていきます。スライドの色の付いた部分がホッパーの背面になります。このとき、書き込み面は上になっています。スライドがホッパーの底に接触したら、スライドを放します。ホッパーに対して水平になるはずです。
4. ホッパーが一杯になるまで、必要に応じてスライドを追加します。スライドをホッパーの上部よりも高く積み重ねないように注意してください。



スライドの選択

スライドの選択は、印刷されたスライドラベルの印字品質を決定する一番重要な要素であるため、鍵を握っています。平らで滑らかなスライドは、スライドの塗装端に凹凸が付いたスライドや粗い表面仕上げが施されたスライドと比べて、非常に良好に印字されます。顕微鏡スライドのメーカーは、熱転写プリンタで他のスライドタイプよりも優れたスライドタイプを持っている場合があります。

本操作ガイドには、SlideMate Proでの使用が検査済みであり承認を受けたスライドの一覧が記載されています。SlideMate Proプリンタでの使用が承認されているとして本マニュアルに一覧表示されていないスライドを使用することは可能ですが、エンドユーザーが印字品質を検証する必要があります。

すべてのスライドメーカーは、バッチごとに、そして多くの場合一年中、一定水準で表面の変化を確認することになります。この表面の変化は、印字品質やスライドの貼り付きに影響を与える可能性があります。分配時に分離が難しい場合があります。何らかのスライドの問題が発生した場合は、解決のためにスライドのメーカーに報告する必要があります。

第2章 – メインユーザーインターフェース

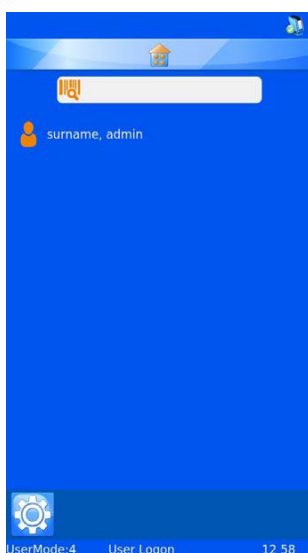


ユーザーモード – 新規ユーザーの追加

プリンタの電源がオンになるとユーザーモードが有効になり、1名の管理者ユーザーが表示されます。

新規ユーザーを追加するには

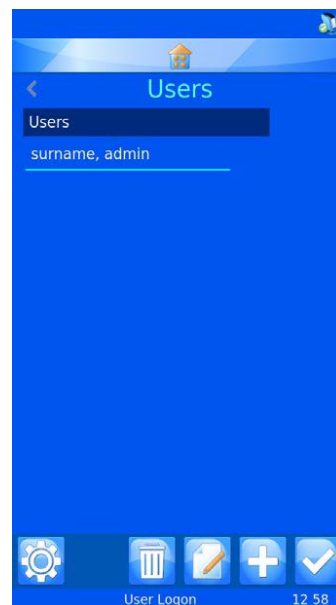
- [設定]ボタンを押します



- [ユーザー]ボタンを押します



- [+]ボタンを押します



- ユーザーのファーストネームを入力する前に、テキスト「User_00」を削除します。
- キーを押してユーザーのファーストネームを入力します
- 入力を完了したら[チェック]ボタンを押します



- 姓を選択し、正しい情報を入力します
- イニシャルを選択し、正しい情報を入力します
- PIN を選択して PIN 番号を入力します（各ユーザーPIN は一意のものである必要があります）
- 必要に応じてスキャンコードを入力します。このコードは、コードを含むバーコードがスキャンされたときにユーザーを自動的にログインまたはログアウトするために使用されます
- [チェック]ボタンを押してから、[ホーム]ボタンを押します

注記

スキャンコードは、スライドラベルの作成で決して使用されない文字の列である必要があります

AMY

Forename AMY >

Surname PARSON >

Initials AP >

Pin 9631 >

ScanCode @2358@ >

User Login 10:48

ユーザーログイン

システムにログインするには

- 正しいユーザーを選択してパスコードを入力します

surname, admin

PARSON, AMY

User Login 13 51

- 正しいパスコードを入力します
- [チェック]ボタンを押します
- 正しいコードが入力されると、ホーム画面が表示されます。間違ったコードが入力されると、ユーザー画面が表示されます。

Enter Pin

9631

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

User Login 13 51

システムが印字に使用できるようになりました。
他のユーザーを入力するには、ユーザー追加のステップを繰り返します。

注記

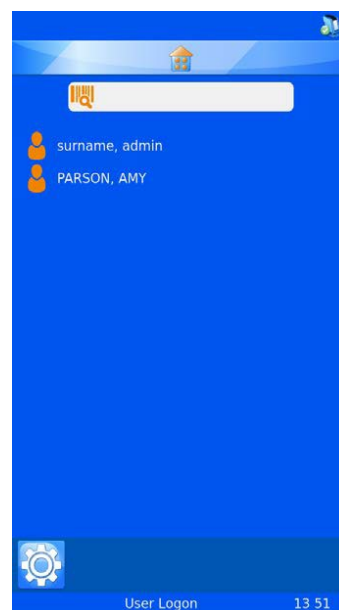
システムが正常に動作するには、各ユーザーのイニシャル、パスコード、およびスキャンコードが一意である必要があります

システムからログアウトするには、[ホーム]ボタンを押してください。システムでログオンタイムアウトを使用するように設定している場合、プリンタは設定された時間後に自動的にログアウトします。ログオンタイムアウトがなしに設定されている場合、ユニットは自動的にユーザーをログアウトさせます。



スキャンコードを使用してシステムにログインするには、正しいスキャンコードが埋め込まれたバーコードをスキャンするだけです。このコードがスキャンされると、ホーム画面が表示されます。

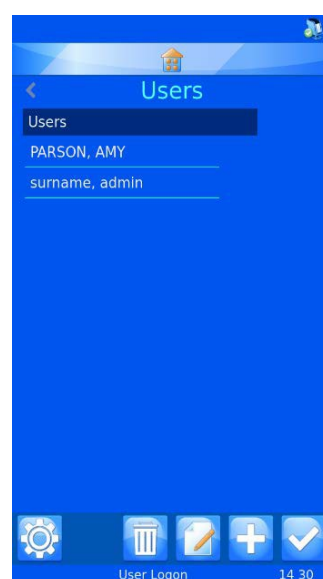
ホーム画面に戻ったら、バーコードを再度スキャンするとユーザーがログアウトされ、ユーザー画面が表示されます。



ユーザープロパティ

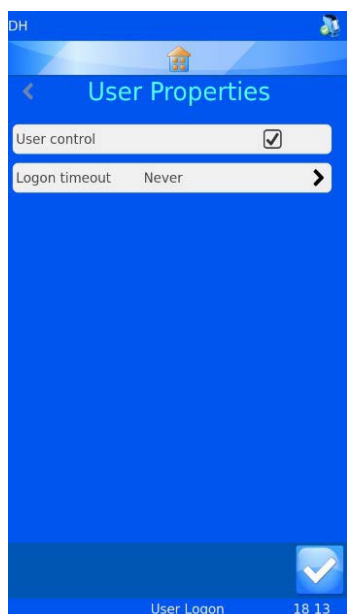
[ユーザープロパティ]メニューを使用して、システムが使用する設定を設定できます。[ユーザープロパティ]メニューにアクセスするには：

- [設定]ボタンを押します
- [ユーザー]ボタンを押します
- [設定]ボタンを押します
- [ユーザープロパティ]メニューが表示されるはずです



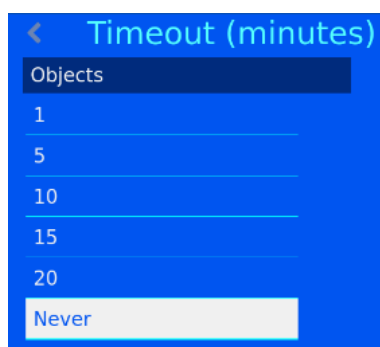
ユーザー制御

ユーザーモードを無効にするには、ユーザー制御の隣にあるチェックボックスを外します。



ログオンタイムアウト

ログオンタイムアウトを設定するには、[ログオンタイムアウト]ボタンを押し、希望する時間を選択します。この時間が設定されていると、ユーザーが一定時間操作しないと自動的にログアウトします。



ユーザーがログインすると、プリンタはスライドの印字の準備が整います。デフォルトのテンプレートが表示されます。

ホーム画面

ホーム画面は、スライドプリンタの状態の表示、スライドラベルの作成、および印字の制御に使用されます。

A. プリンタのステータスバー

ディスプレイ上部のバーには、プリンタのステータスが表示されます。



準備完了

プリンタは印字の準備が整っています。



稼働中

プリンタは印字中または取り込み中です。



リボン残量を示します。

B. [ホーム]ボタン

ホームバーはすべてのソフトウェア画面に表示されます。このバーを押すと、どの画面からでもホーム画面に戻ります。ホーム画面で押すと、現在のユーザーはログアウトし、ユーザーログイン画面が表示されます。

C. スキャナバー

スキャナバーには、統合型スキャナを使用してスキャンしたデータまたは画面キーボードに入力したデータが表示されます。キーボードを使用してこのボックスにデータを入力するには、スキャナボックスを押してキーボード入力モードを開きます。

注記

スキャナボックスにデータが含まれている場合は、Windowsドライバから送信される画像は印字キューに表示されません。

D. [テンプレート]

スライドに印字されるデータを表示します。ラベルを編集するには、テンプレートの中間をタッチします。

E. [実行]ボタン

[実行]ボタンを押すと、印字プロセスが開始します。

F. [イジェクト]ボタン

下矢印を押すと、スライドの取り出しシーケンスが開始します。

G. スライドディスプレイスバー

これらのボタンを押すと、入力選択が有効になります（左ホッパー、手動ロード、または右ホッパー）。

H. 設定バー

設定バーのボタンは、使用可能な機能に基づいて変わります。操作または操作を許可または禁止するために画面または情報が変更されると、ボタンが自動的に追加または削除されます。ボタンについては、本操作マニュアル全体でさらに説明しますが、一般的なボタンは次のとおりです。



[チェック]ボタン。このボタンは[確認]または[OK]と呼称されることもあります。ボタン押すと、変更が保存されるかプロセスが確認されます。



[キャンセル]。このボタンは現在のアクションをキャンセルします



[設定]。このボタンを押すとソフトウェアアイテム内の[設定]メニューを開きます



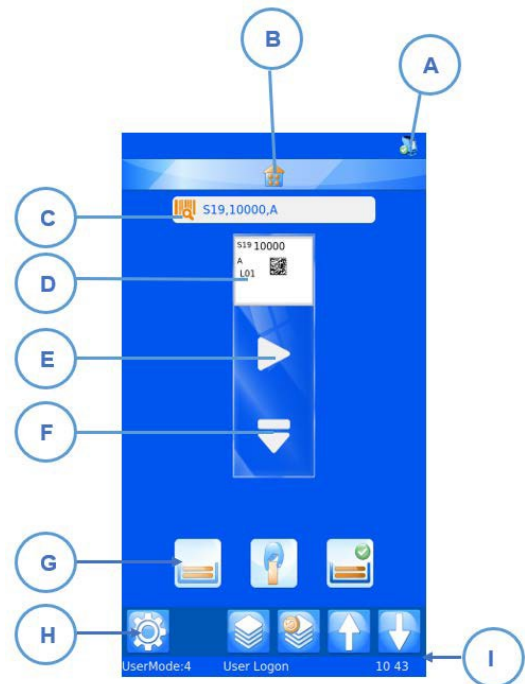
[ゴミ箱]または[破棄]。このボタンを押すと、選択したアイテムを削除できます



[編集]。このボタンを押すと、ユーザーは選択したアイテムを編集できます

I. ステータスバー

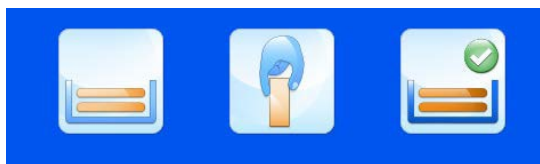
時間とテンプレートなどのステータス情報を表示します。



スライドの印字

SlideMate Proは、スライドをオンデマンドで印字するように設定されます。表示されるラベルは、スライドに印字される内容を示します。このセクションは、スライドが印字キューに配置された方法に関係なく、スライドの印字に適用されます。

スライドを印字するには、[ホッパー]ボタンまたは[実行]ボタンを押します。これらのいずれかを押すと、スライドのディスペンスと印字が開始されます。ユーザーインターフェースは、最小限のキー入力でプロセスを実行できるように設計されています。アクティブなホッパーには、アクティブな[ホッパー]ボタンに[チェック]ボタンが表示されます。以下の画像内では、ホッパー（右側）の選択内容が示されます。[実行]ボタンを押すと、スライドがスライドホッパー（右側）からディスペンスされます。



スライドディスペンスバーの操作

スライド入力バーの3つのボタンは、左、右、および手動のスライド入力位置を表します。3つのボタンのいずれかを押すと、対応する位置からディスペンスプロセスが開始されます。

左ホッパーボタンを押すと、左ホッパーからスライドが排出され、左ホッパーがアクティブな位置になります。

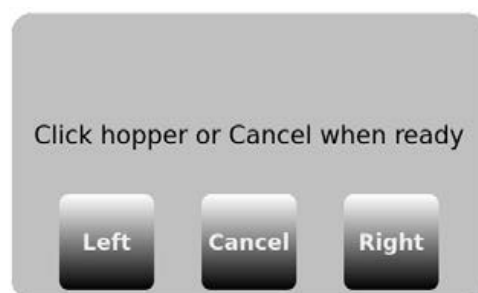
[中央ホッパー]（手動ディスペンス）ボタンを押すと、ディスペンスアームが中央に移動し、ディスペンス位置まで上昇し、手動ディスペンスがアクティブな位置になります。

[右ホッパー]ボタンを押すと、右ホッパーからスライドがディスペンスされ、右ホッパーがアクティブな位置になります。

[実行]ボタンを押すと、キュー内のすべてのスライドがアクティブなホッパー位置からディスペンスされます。

何らかの理由でプリンタがスライドを分配できない場合、エラーメッセージボックスがメイン画面に表示されます。エラーメッセージは、一般的なディスペンスエラーと、ユーザーが機器を回復できるようにする指示とボタンを定義します。

エラーの説明に注意し、画面上の指示に従ってください。スライドの詰まりが発生した場合、ユーザーに[復旧]ボタンを押す前に詰まりを直すよう指示するメッセージが表示されます。障害物を取り除き、[復旧]ボタンを押すと、プリンタに操作を続行する方法が指示されます。何らかの理由でスライドプリンタを復旧できない場合は、プリンタを復旧するために電源を入れ直す必要があります。



左または右キーを押すと、ユニットがリセットされ、左または右のホッパーからディスペンスされます。[キャンセル]ボタンを押すと、ユニットがリセットされ、ユーザーの指示を待つ間アイドル状態になります。

印字プロセスの実行後に、ディスペンスエラーと印字エラーが発生する場合があります。その場合、プリンタは、ラベルが完全に印字されているかどうか不明になります。印字をクリアするとき、またはディスペンスエラーが起きた時は、同じスライドデータで2回目の印字をしないように注意する必要があります。スライドラベルが正常に印字されたら、[キャンセル]ボタンを押して、重複するラベルがないかキューを検査してクリアする必要があります。

スライドの一括印字

注記

SlideMate の出力シユートは最大 10 枚のスライドを保持します。

10枚以上のスライドを一括印字する場合は、10枚目に出てくるスライドを取り出す必要があります。本機器は、スライドが10枚出た後に自動的に出すのを停止する機能は備わっていません。

複数のスライドがキューにある場合、ラベル選択または印字順序は、メイン画面の左矢印および右矢印ボタンを使用して変更できます。



スライドを左に移動



スライドを右に移動



1枚のスライドを移動



全てのスライドを移動



スライド矢印を1回押すと、1枚ずつスライドがキューの左側に移動します。プリンタは常に最初に前面のスライドを印字し、次にすべてのスライドが印字されるまで右側に進み続け、次に左側を印字します。



逆順で印字する

操作者は、キューに送信されたのと逆の順序でキュー内のスライドを印字することを選択できます。

逆順で印字するには、スライドバッチを作成し、[すべてのスライドを左に移動]ボタンを押してから、印字を開始します。

スライドが印刷されると、最初に命令されたスライドは、スライドコレクションのスタックの一番上になります。



スライドキュー数量

1 : 4

ホーム画面の上部中央に表示される数字は、キュー内のスライドの総数とそのキュー内の前面スライドの位置を示します。

キュー内のスライドの削除

スライドがキューに入ると、個々のスライドまたはすべてのスライドをキューから削除できます。すべてのスライドを削除するには、[X]ボタンを押してスライドのキュー全体を削除します。



このボタンを押すと、キュー内のすべてのスライドが削除されます。

個々のスライドを削除するには、[ごみ箱]ボタンを押します。このボタンを押すと、前面のスライドのみが削除されます。削除するスライドは、[ごみ箱]ボタンを押す前に前の位置に移動する必要があります。



[ごみ箱]または[破棄]。このボタンを使用すると、ユーザーはキューのフロントでスライドを削除できます。

スライド出力は10枚のスライドのみを保持することに注意してください。10枚を超えるスライドを一括印字するときは、スライドが回収シュートの上部を流れないように、タイムリーにスライドを取り外すように注意する必要があります。

[設定]メニュー



[ホーム]ボタン

任意の画面で[ホーム]ボタンを押すと、変更が保存され、メインの印字画面が表示されます。ホーム画面が表示されているときに[ホーム]ボタンを押すと、ユーザーは自動的にログアウトされ、ユーザーログイン画面が表示されます。



[戻る]ボタン

ボタンを押すと、変更が保存され、[以前のソフトウェア]メニューが表示されます。



[設定]メニューアイコン

[設定]メニューのアイコンのいずれかを押すと、適切なメニューアイテムが開きます。



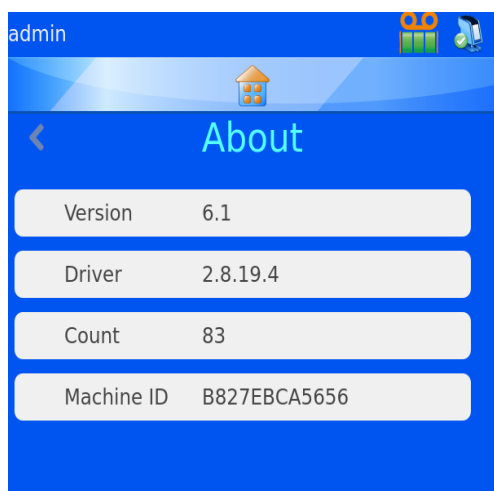


[概要]メニュー

プリンタのソフトウェアと一般情報に関する情報を提供します。

以下を表示します。

- ソフトウェアのバージョン
- ファームウェアのバージョン
- 印字したスライドの総数
- 機械 ID



[日付と時刻]メニュー

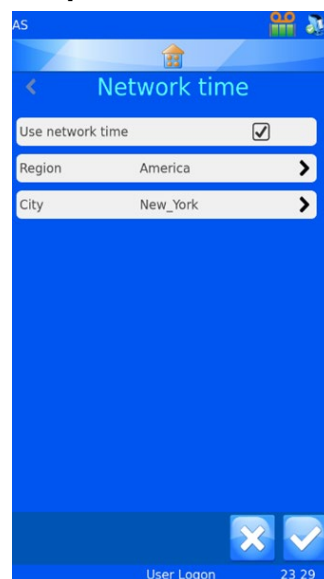
時刻と日付を設定するには、[設定]と[カレンダー]アイコンを押します。



プリンタがネットワークまたはPCに接続している場合、[ネットワーク時刻を使用する]設定を使用することが推奨されます。これを設定すると、プリンタは実験室内の他のシステムと同期します。

ネットワーク時刻を使用するには：

1. [ネットワーク時刻を使用する]ボックスにチェックを入れます。
2. 地域を設定します。
3. 現在地と同じタイムゾーンの都市を選択します。
4. [チェック]ボタンを押します。

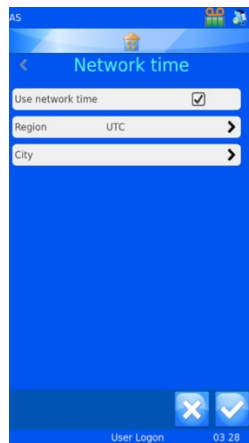


日付と時刻を手動で調整するには：

地域設定ではUTCを選択し、[ネットワーク時刻を使用する]のチェックを外してください。

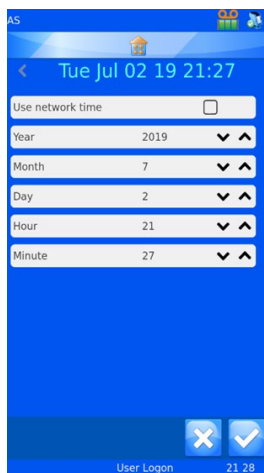
日付と時刻を調整するには：

1. 設定を押します。
2. [日付/時刻]アイコンを押します。
3. 上下矢印を使用して、正しい値を設定します。
4. 情報が正しく、画面上部の日付と時刻が正しく設定されたら、[チェック]ボタンを押します。



注記

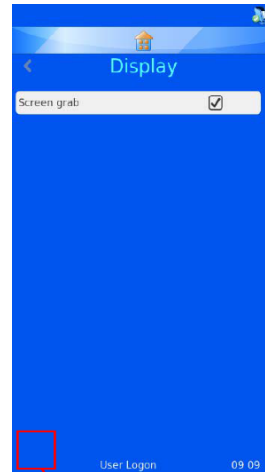
テンプレート内の日付と時刻のデータは、システム日時を使用します



[表示]メニュー

スクリーンショット

これにチェックマークが付いている場合は、ディスプレイの左下隅をタッチして、画面イメージをUSBスティックに保存できます。スクリーンショットは任意のソフトウェアメニューから実行できます。



こちらを押すと、画面イメージがUSBドライブに保存



[インターナショナル]メニュー

言語

表示言語を変更することができます。

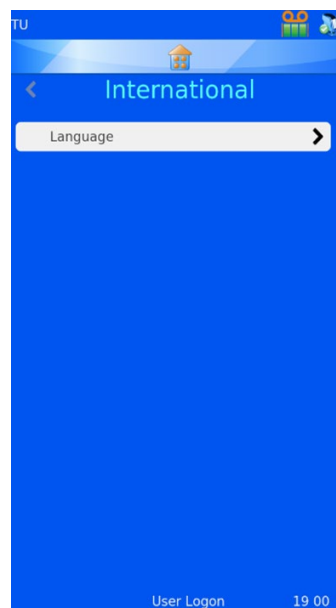
デフォルトの言語は英語であり、すべてのスライドプリンタは、工場出荷時は英語に設定されています。

別の言語を選択するには：

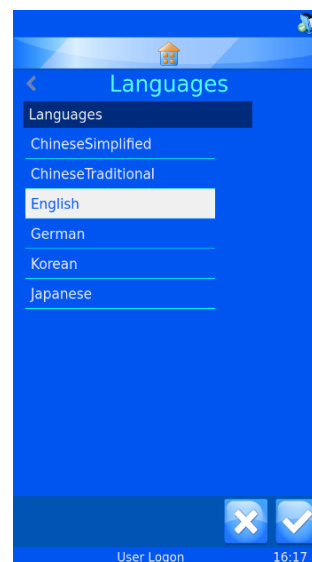
- [設定]を押します
- [地球儀]アイコンを押します



- [言語]ボタンを押します



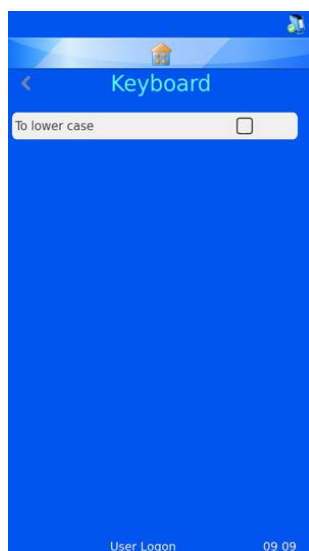
- 必要な言語を選択します。
- [チェック]ボタンを押して[OK]を選択します。
- 電源が自動的に切れ、またすぐに再投入されると、新しい言語が表示されます。
- 言語の変更を確認するには、[設定]を押してメニュー画面に入ります。



[キーボード]メニュー

選択した場合、最初に入力した文字は大文字になり、その次の入力からは自動的に小文字に切り替わります。

選択しない場合、文字入力は大文字のままになります。



外部キーボード – 外部キーボードをスライドプリンタに接続することが可能です。外部キーボードは、データを特定のデータエントリボックスに入力するために使用できます。キーボードの1つのモデルのみがスライドプリンタと互換性があります。これは Accuratus の 部 品 番 号 だ す。KYB500-K82A

[ネットワーク]メニュー

ネットワーク設定は、スライドプリンタをネットワークとネットワークサービスに接続するのに使用します。本プリンタは、スライドプリンタの背面にあるRJ45コネクタを介してネットワークに接続できます。

この接続を確立するには、プリンタの電源をオフにして、プリンターの背面にあるRJ45接続に標準のネットワークケーブルを挿入します。

ケーブルのもう一方の端をローカルネットワーク接続に差し込みます。

プリンタの電源をオンにします。スライドプリンタの電源がオンになり、初期化されたら、[設定]ボタンを押し、[ネットワーク]ボタンを押すと、ネットワークIPアドレスが表示されます。



[IP アドレス]

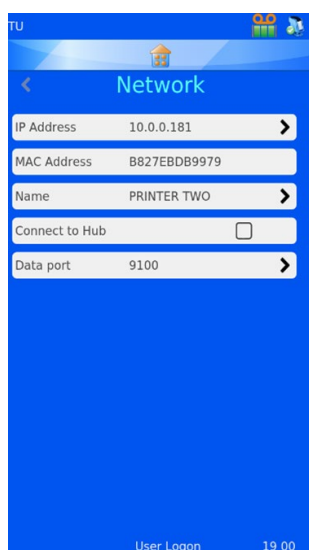
ネットワークに接続するには、IPアドレスを選択し、IPタイプDNS（ネットワークが割り当てるIPアドレス）または固定（ユーザーが割り当てるIPアドレス）を選択します

[MAC アドレス]

スライドプリンタのMACアドレスを表示します

[名前]

プリンタ名の変更に使用 - これは、複数のデバイスを接続するときに使用され、ホーム画面の下部にも表示されます



[ハブに接続]

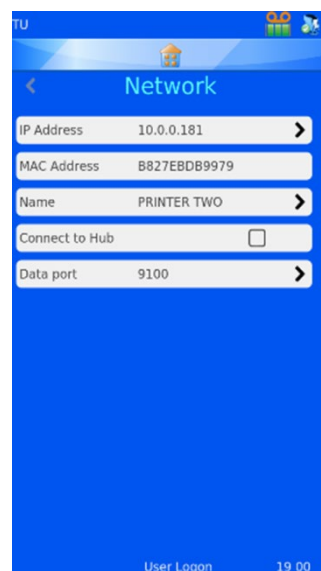
1つ以上のプリンタをハブに接続するために使用します（利用不可）

[データポート]

ネットワーク（通常は9100）に接続する際に、特定のデータポートを設定するために使用します。

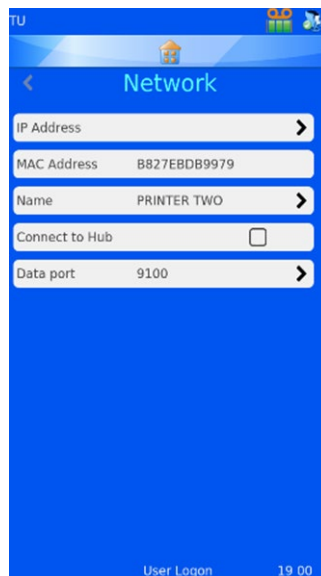
ネットワークへの接続が成功すると、[IPアドレス]というラベルのボックスにIPアドレスが表示されます。ネットワークはIPアドレスを自動的に割り当てるように設定されており、DNSが選択されている場合、IPアドレスが表示されます。

ネットワークが静的IPアドレスを使用するように設定されている場合、固定IPアドレスを入力する必要があります。

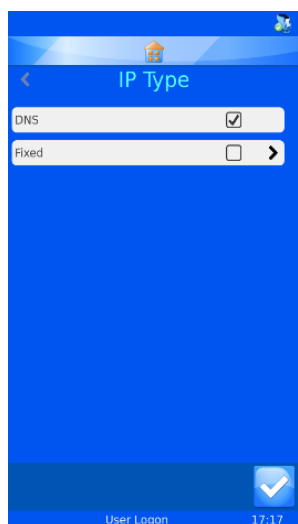


[ネットワーク]メニューから固定IPアドレスを設定するには：

- [IP アドレス]を押します



- [固定]を押すと[固定 IP セットアップ]メニューが表示されます



- [IP アドレス]、[マスク]、および[デフォルトゲートウェイ]のフィールドに適切な情報を入力します。各ボックスがスクリーンキーボードで開きます。正しい情報を入力し、[チェック]ボタンを押して新しいエントリを確認します。
- 入力完了したら、プリンタの電源を入れ直して IP アドレスをリセットします。



スライドプリンタがネットワークに接続されると、スライドプリンタは、Pyramid Innovation Ltd Windows®プリントドライバー、Pyramid Innovation Ltd Hub、NiceLabelまたはその他のLISアプリケーション等のラベルデザインプログラムなどのその他アプリケーションから情報を受信することができます。



[プリンタ]メニュー

[インデックステープ]

リボンを進めます。前進装置が正常に動作している場合、移動は短い距離になります。リボンが長距離（1 cm以上）移動する場合、前進装置が誤動作している可能性があります。

[プリンタのリセット]

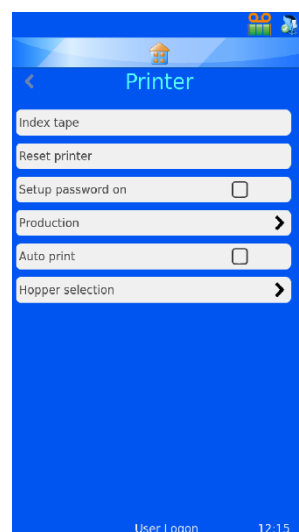
プリンタのメカニズムがリセットされます。プリントヘッドがプリントサイクルの下部に移動し、上部に戻る音が聞こえます。

[セットアップパスワードをオンにする]

メイン画面でパスワード要件を有効にして、管理メニューに入ります。



生産およびセットアップのプロパティはパスワードで保護されており、通常のユーザーは入力できません



[自動印字オン]

画像またはテキストファイルをプリンタに送信するときに自動印字開始を有効にします。この機能は、キーボード入力またはスキャンで作成された内部生成ラベルでは機能しません。

[インテリジェントスライド選択] (ホッパー選択)

[インテリジェントスライド選択]を利用すると、ホッパーの選択が自動化されます。インテリジェントスライド選択システムは、ディスペンスする正しいホッパーを自動的に決定できます。この決定は、ラベル画像を分析することにより行われます。次に、スライドプリンタは左または右のホッパーからスライドを自動的にディスペンスします。ペインは、分析する画像の領域を識別し、この領域内の印字に基づいて特定のホッパーを選択します。[ホッパー選択を使用]ボックスをチェックすると、インテリジェントスライド選択が有効になります。

ペインの位置とサイズは、[ホッパー選択]メニューから調整できます。デフォルトのサイズと位置では、このペインは以下に示す位置に配置されます。ペインは赤色で表示され、設定に従いホッパーが表示されます。このケースでは、R（右）ホッパーです。

アクティブな場合、インテリジェントスライド選択は、他のすべてのホッパー選択オプションを上書きします。



[空の左ホッパーを使用する]

ホッパー選択を設定します。チェックした場合、ペイン内で印字が行われない場合は左ホッパーが選択され、ペイン内で印字が発生する場合は右ホッパーが選択されます。チェックを外した場合、ペイン内で印字が行われない場合は右ホッパーが選択され、ペイン内で印刷が発生する場合は左ホッパーが選択されます。

[画像に表示]

チェックを入れると、赤色のペインがラベルイメージに表示されます。

[左位置]

ラベルの左端からの距離であるX位置を設定します。

[上部位置]

ラベルの上端からの距離であるY位置を設定します。

[幅]

ペインの幅を設定します。

[高さ]

ペインの高さを設定します。



[ソフトウェア]メニュー

ソフトウェアのアップグレード

[ソフトウェア]メニューは、プリンタのユーザーインターフェースソフトウェアをアップグレードしたり、ユーザーが構成した設定を転送したりするために使用します。これらは、メモリースティックからプリンタにアップロードするか、プリンタからメモリースティックにダウンロードできます。

ソフトウェアをアップグレードするには

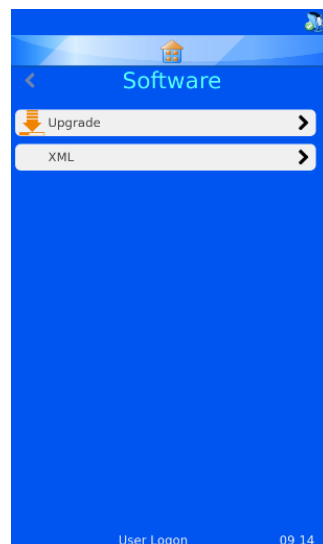
アップグレード機能は、新しいユーザーインターフェースソフトウェアのファイルをプリンタにインストールするために使用されます。このプロセスは簡単で、スライドプリンタのソフトウェア内で自動化されています。

ソフトウェアをアップグレードするには：

1. 有効なソフトウェアバージョンを USB メモリースティックのルートにコピーする必要があります。
2. 新しいソフトウェアバージョンの USB スティックをプリンタ背面にある USB ソケットの 1 つに差し込みます

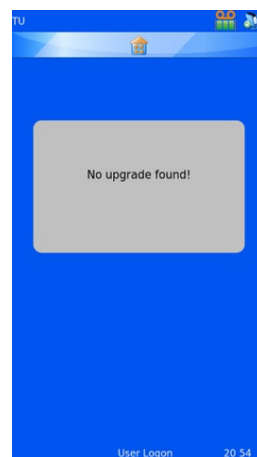


3. [設定]ボタンを押します
4. [ソフトウェア]ボタンを押します
5. [アップグレード]ボタンを押します



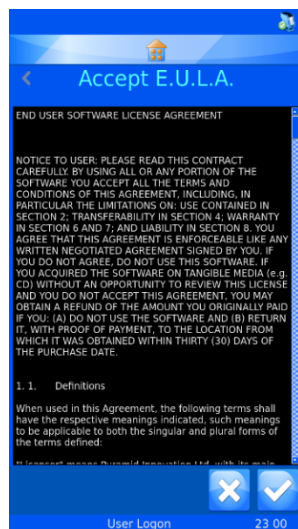
6. USB ポートに有効なアップグレードファイルが見つからない場合、すぐに「アップグレードが見つかりません！」というメッセージが表示されます。メッセージの確認は不要です

ソフトウェアに埋め込まれた日付コードは、USB ドライブ上のソフトウェアがプリンタにインストールされているソフトウェアよりも新しいか古いかを判断するために使用されます。したがって、有効であると考えられるファイルがシステムにより新規として認識されない場合があります。



7. 有効なアップグレードファイルが見つかった場合、エンドユーザーライセンス契約が表示されます。[キャンセル]ボタンを押すと、アップグレードがキャンセルされます。[チェック]ボタンを押すと、ソフトウェアのインストールが続行されます。

8. [チェック]ボタンを押します



9. [チェック]ボタンを押します
10. プリンターは電源の再投入により自動的にリセットされ、アップグレードプロセスが完了します



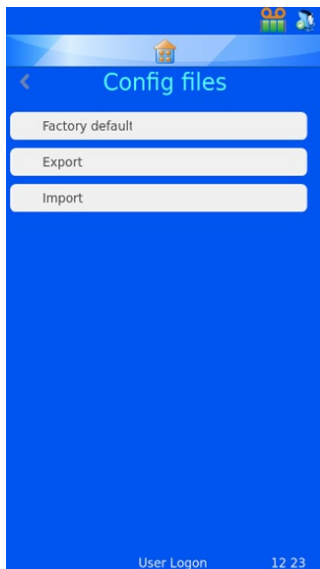
構成ファイル

工場出荷時設定（XML ファイルのリセット）

ユーザー構成は工場出荷時設定に復元することができます。この設定にすると、ユーザーがセットアップしたテンプレートとトランスレーターが削除され、機械の設定に影響を与えることになります。

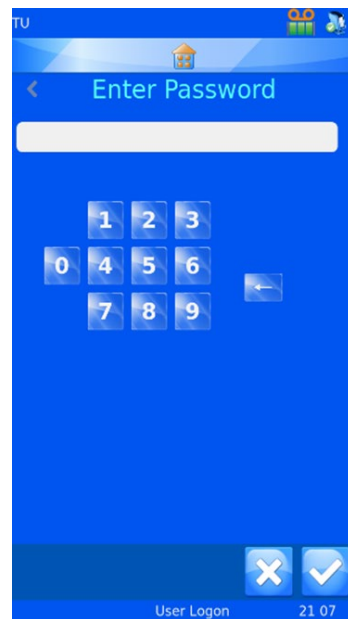
構成（XML）ファイルを工場出荷時設定にリセットするには：

1. [設定]ボタンを押します
2. [ソフトウェア]ボタンを押します
3. [工場出荷時設定]を押します



4. プロセスを続行するために、パスコードを入力する必要があります。パスコードは「7251」です。
5. [X]ボタンを押すとキャンセルされ、[チェックボタン]を押すを確定されます。

6. [チェック]ボタンを押すと、ファイルはそれ以降は確認操作なしに復元されます。



プリンタのユーザー構成のエクスポート (XML)

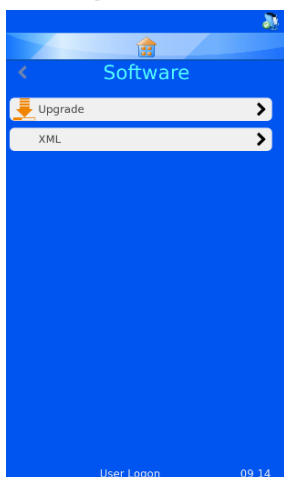
XML機能により、ユーザーはスライドプリンタのユーザー構成をバックアップまたはコピーできます。スライドプリンタが構成されたら、構成のバックアップコピーを保存することをお勧めします。バックアップコピーは、構成内で何かが失われたり、不注意に変更された場合に役立ちます。

XML ファイルのコピーをエクスポート (ダウンロード) するには：

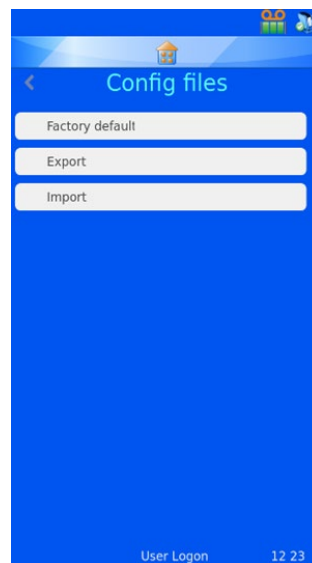
1. USB スティックをプリンタ背面にある USB ソケットの 1 つに差し込みます。USB スティックにルートディレクトリ内の XML フォルダを入れることは推奨されません



2. [設定]ボタンを押します
3. [ソフトウェア]ボタンを押します
4. [構成ファイル]ボタンを押します



5. [エクスポート]を押します



6. 確認メッセージが表示されるので、ダウンロードプロセスをキャンセルする場合は[いいえ]を、続行するには[はい]を押します。



7. XML ファイルがエクスポート中であるというメッセージが表示されます。プロセスが完了すると、XML メニューが再度表示されます。このファイルは、通常のファイルコピー方法を用いて他のストレージデバイスにコピーすることができます。



xmlファイルを手動でコピーすると、ソフトウェアが異常な動作をする可能性があります。

8. ファイルを電子メールで送信する場合は、送信前にファイルを圧縮しておくことを推奨します。



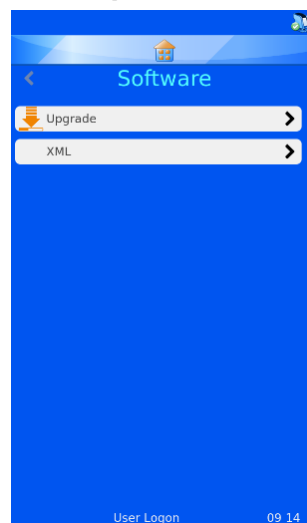
プリンタのユーザー構成のインポート（XML）

XML ファイルのコピーをインポート（アップロード）するには

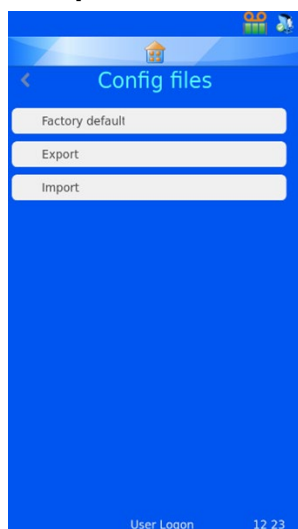
1. USB スティックをプリンタ背面にある USB ソケットの 1 つに差し込みます。USB スティックには、ドライブのルートディレクトリに有効な XML ファイルセットが必要です。



2. [設定]ボタンを押します
3. [ソフトウェア]ボタンを押します
4. [構成ファイル]ボタンを押します



5. [インポート]を押します



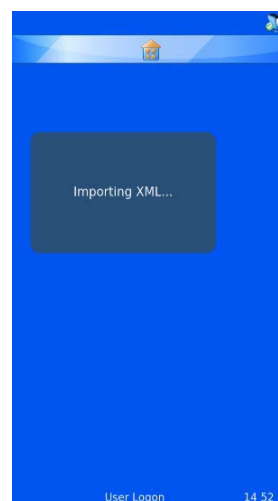
6. 確認メッセージが表示されるので、ダウンロードプロセスをキャンセルする場合は[いいえ]を、続行するには[はい]を押します。



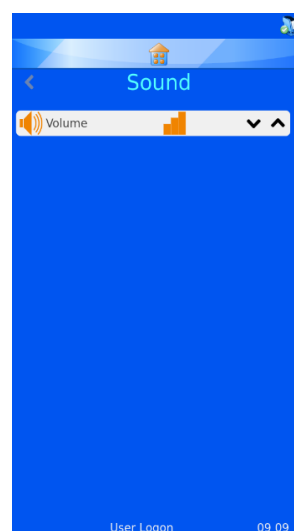
このプロセスを実行すると、スライドプリンタの現在のXML構成ファイルが上書きされます。



7. XML ファイルがインポート中であるというメッセージが表示されます。プロセスが完了すると、[XML]メニューが再度表示されます。
8. プリンタを再起動します。



[音声]メニュー



音量は4段階で調節できます。音量を調節するには、上下矢印ボタンを押します。



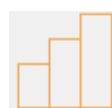
[音量大]



[音量中]



[音量小]



[音量オフ]

Windows プリンタセットアップ

本スライドプリンタは、ラベルデザインプログラムまたはLISシステムでデザインおよび作成したラベルを印字するようにセットアップすることができます。こうしたラベルは、ビットマップ画像として設計し、プリンタに送信する必要があります。これらのラベルを印刷するプロセスは、Windows®ドライバを使用してコンピュータからデスクトッププリンタに印刷し、キューを管理し、プリンタに画像を送信するやり方に似ています。PCまたはサーバーからプリンタへの接続は、USBまたはイーサネット接続で、ドライバを使用して自動的にセットアップおよび構成できます。

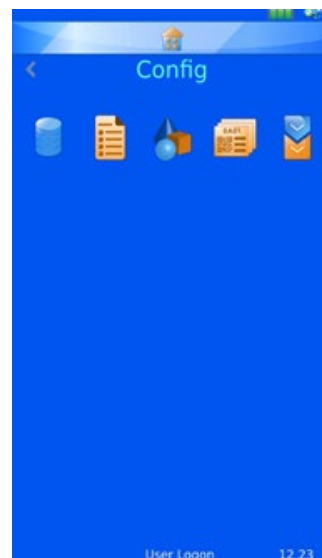
本スライドプリンタのハードウェアはデジタル署名されており、以下のMicrosoftWindows®オペレーティングシステムで使用できます。Windows 7、Windows 8、Windows 10（32ビット版および64ビット版の両オペレーティングシステム）。

Windowsプリンタは、他のほとんどのプリンタドライバのインストールと同様に自動的にセットアップされます。ドライバのインストールの詳細については、Windowsドライバのマニュアルを参照してください。



[構成]メニュー

[構成]メニューは、データ受信、内部データベースへのデータの追加、およびスライドラベルのデザイン用にプリンタを構成するために使用されます。ユニットを完全に構成するには複数の手順を完了させる必要があります、次のセクションではそのプロセスについて説明します。



[データ]

[データ]メニューでは、データベース内のデータをセットアップおよび構成ができます。



[アイテム]

[アイテム]メニューでは、システムで使用されるアイテムのセットアップと構成ができます。



[オブジェクト]

[オブジェクト]メニューでは、システムがリクエストフォーム、コンテンツ、カセット、スライドを自動的に識別できるようにアイテムをセットアップできます。



[テンプレート]

[テンプレート]メニューを操作すると、ラベル画像をデザインして、テキストと数字の向きを構成できます。



[トランスレーター]

[トランスレーター]を使用すると、新しいラベルデザインを作成する際にテンプレートで受信データを使用できます。

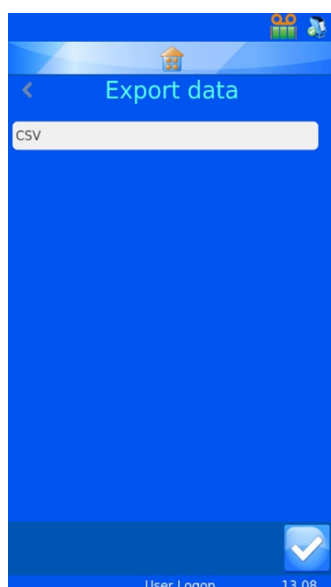
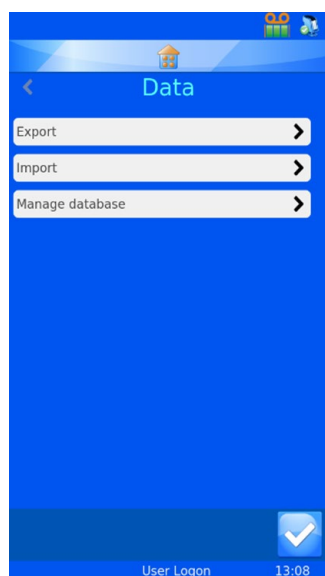


[データ]メニュー

[エクスポート]

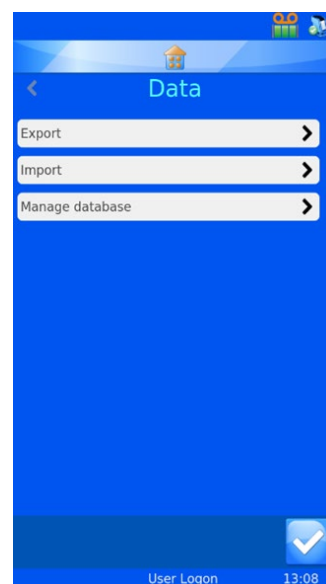
CSV形式でエクスポート

エクスポート機能を使用すると、オンボードデータベースをcsv形式で外部ドライブにダウンロードします。この機能を使用するには、メモリスティックをスライドプリンタのUSBポートに挿入し、データエクスポートメニューの[csv]ボタンを押します。



[インポート]

インポート機能は、さまざまな種類のファイルをプリンタにインポートするために使用します。これらのファイルは、ファイルを送信するシステムに応じて、テキストファイルまたは画像ファイルのいずれかになります。その種類に関わらず、ファイルをプリンタに送信する前にユニットを構成することが重要です。プリンタが正しい種類のファイルに設定されていない状態でファイルが送信されると、ユニットがリセットされたり、予期しない印字が表示されることがあります。複数の形式がサポートされているので、ファイルをプリンタに送信する前に適切な形式を選択してください。



データファイルは、ホットフォルダ（キャッシュフォルダ）にファイルを配置することでプリンタに送信できます。Windowsドライバは、ホットフォルダからファイルを自動的に取得し、プリンタに送信します。

Piプリンタードライバー/フォルダは、画像ファイルまたはテキスト区切りファイルの送信に使用されます。

他の種類のWindowsドライバまたはLabWriterソフトウェアからファイルを送信する場合、他のプリンタドライバが使用されます。

その他のWindowsドライバに関する詳細については、「A83910104 – Driver Operator Guide」を参照してください。



[データベースの管理]

このメニューは、プリンタに保存されているデータの管理、エクスポートまたはリセットに使用します。

保持日数

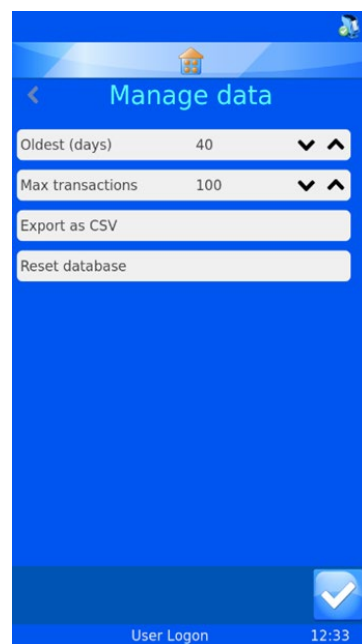
スライドプリンタ上にデータを保持しておく日数を設定します。

最大トランジション数

スライドプリンタ上にデータを保持しておく総トランザクション数を設定します。

データベースのリセット

すべてのスライドプリンタのデータを削除します



内部ラベルデザイン機能の使用

本スライドプリンタは、通常のテキストを印字可能なラベルに変換する内部ラベルデザイン機能を搭載しています。このデータは、複数の方法でプリンタに送信することができます。データをテキストファイルとしてプリンタに送信し、キーボードからデータを入力できます。

統合型バーコードスキャナは、バーコードをスキャンし、ホーム画面の上部にあるスキャンバーにデータを自動的に送信できます。このデータは、[ソフトウェア]メニュー内で使用したり、内部ラベルデザインソフトウェアで使用して、印字可能なスライドラベルを作成することもできます。

ラベルは、データをラベル画像に変換する[データ]メニュー内のいくつかのプロセスを使用してデザインされています。プロセスの簡単な例を以下に示します。各ステップについては、本操作ガイドのこのセクションでさらに説明します。

区切りデータは、バーコードスキャナ、スクリーンキーボード、または汎用テキスト専用Windowsドライバを介してソフトウェアに送信されます。データはスキャンボックスにキャプチャされます。

このテンプレートは、データベースからデータをインポートし、1 x 1インチのラベルデザインにデータを整理します。アイテムを移動し、フォントとフォントサイズを調整して、完璧なラベルを作成できます。

 S19,12345,A,01



Data assignment

Item = Data

Prefix = S19

CaseNo = 12345

Suffix1 = A

Suffix2 = 01



Template data

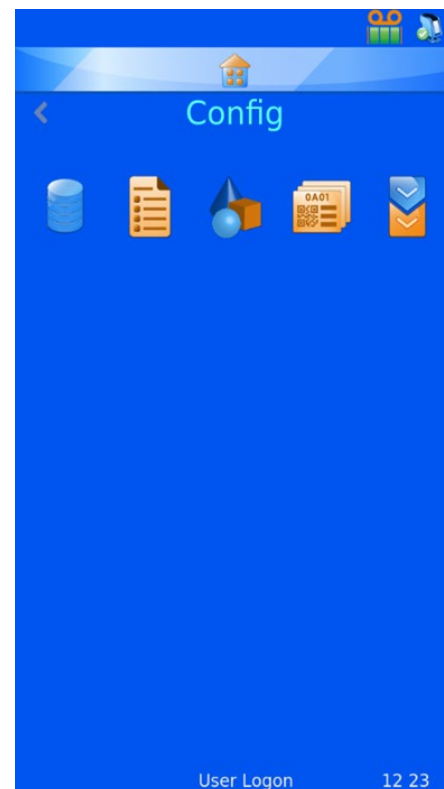
S19
12345
A
01

標準ラベルデザインのセットアップ

データのインポート/ラベルデザイン構成をセットアップするには、4つのステップがあります。

以下のステップがあります。

- アイテムを構成する
- オブジェクトを構成する
- トランスレーターを構成する
- テンプレートを構成する





[アイテム]

[アイテム]メニューでは、システムで
用されるアイテムのセットアップと構
成ができます



[オブジェクト]

[オブジェクト]メニューでは、システム
がリクエストフォーム、コンテナ、カ
セット、スライドを自動的に識別でき
るようにアイテムをセットアップでき
ます



[テンプレート]

[テンプレート]メニューを操作すると、
ラベル画像をデザインして、テキスト
と数字の向きを構成できます



[トランスレーター]

[トランスレーター]を使用すると、新し
いラベルデザインを作成する際にテン
プレートで受信データを使用できます



[アイテム]メニュー

データアイテムは、データをフォーマットし、テ
ンプレートにデータを表示するために使用されま
す。アイテムはデータベース内のフィールドです
。データベースは、Excelワークシートのように
表示され、シートの上部にアイテム名があり、デ
ータがヘッダーの下のに編成されます。

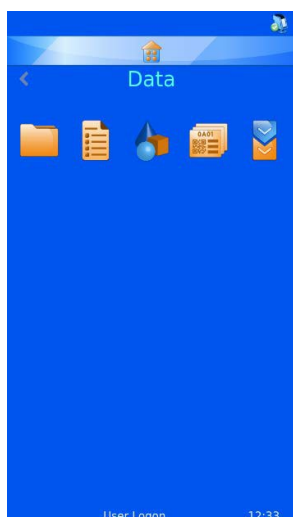
	A	B	C	D	E	F	G
1	Prefix	Case No	Suffix 1	Suffix 2	Generic 1	Generic 2	Generic 3
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

プリンタソフトウェアにはアイテムの固定セット
があり、これらのアイテムは変更できます。新し
いアイテムを追加したり、アイテムを削除したり
することはできません。[アイテム]メニューを使
用すると、ユーザーは各アイテムを変更して、実
験室スタッフの好みに合わせてカスタマイズでき
ます。汎用1アイテムの編集例を以下に示し
ます。

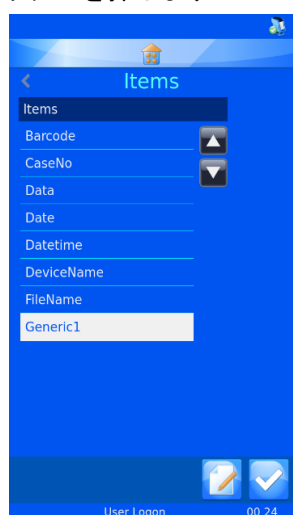
1. [設定]を押します
2. [データ]を押します



3. [アイテム]を押します



4. スクロールして、[汎用 1]を選択します。
5. [編集]ボタンを押します



[名前]

[名前]は表示されるアイテムの名前です。これは編集できますが、他のアイテムと同じ名前を付けないでください。

[データタイプ]

ユーザーがデータベースに送信される特定のタイプのデータを選択できます。[テキスト]、[数値]、[リスト]、および[日時]から選択できます。

[文字数]

この特定のアイテムを送信できる最大文字数を設定します。

[デフォルトのテキスト]

これは、アイテムに入力されるデフォルトのデータです。データが外部ソースから送信された場合、このデータは上書きされます。

6. [名前]を選択し、次に[編集]ボタンを押します

7. 「コンテナ」を入力します

8. [チェック]ボタンを押します

列Eアイテムがコンテナに変更されていることが以下で確認できます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	Prefix	Case No	Suffix 1	Suffix 2	Container	Generic 2	Generic 3
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

データがデータベースにキャプチャされると、以下の画像のように表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	Prefix	Case No	Suffix 1	Suffix 2	Container	Generic 2	Generic 3
2	S19	12345	A	01			
3							
4							
5							
6							
7							
8							



トランスレーター

トランスレーターは、受信データと送信データをフィルタ処理およびフォーマットする方法を制御するために使用されます。

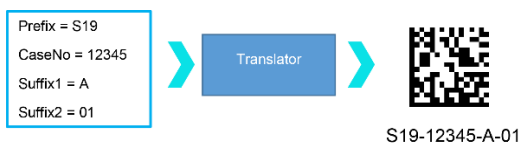
受信データはトランスレーターを介して転送され、データのセクションを抽出してデータアイテムに移動します。

送信データは、トランスレーターを使用して、区切り文字付きまたは区切りなしでデータ項目のテキスト文字列を作成することにより作成されます。

スキャンしたバーコードからの受信データの例



プリントされたバーコードの作成に使用される送信データの例



区切りデータ

区切り文字は、データ要素を区切るために使用されます。この場合、ダッシュが区切り文字として使用されます。データ要素の長さは様々に異なります。

S19-12345-A-01

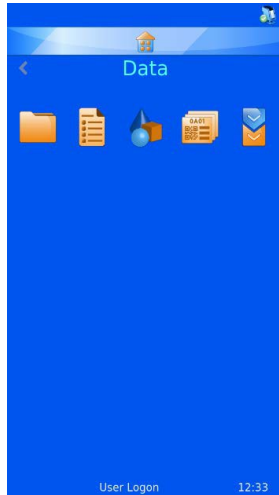
固定長データ

固定長データには固定長のデータ要素が入っています。

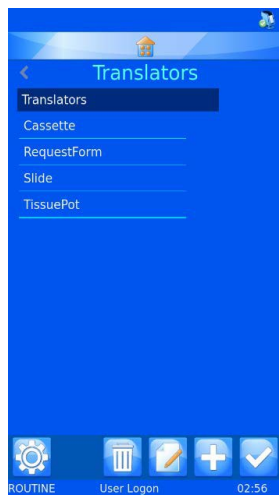
S1912345A01

トランスレーターの追加 – 区切りデータ

1. [設定]を押します
2. [データ]を押します
3. [トランスレーター]を押します



4. [追加]を押します



5. トランスレーターの名前を入力します
6. [チェック]ボタンを押します



7. [スキャンまたはコードの入力]ボックスが開き、データは表示されません。

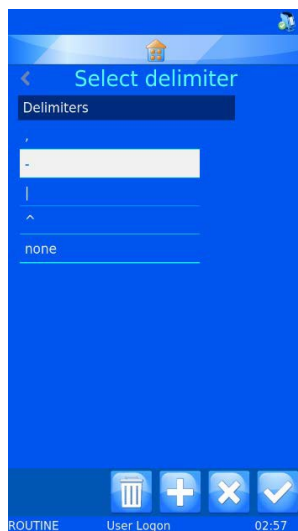


8. データは、キーボードを使用して入力するか、統合型スキャナを使用してスキャンするか、ソフトウェアから送信できます。データが[スキャンコード]ボックスに表示されます。

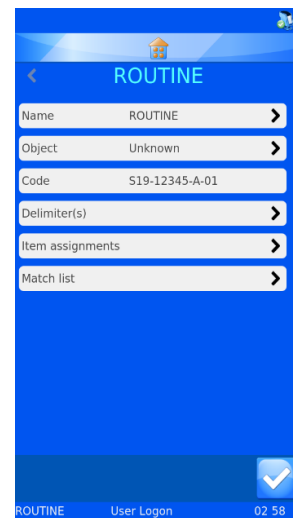
9. [チェック]ボタンを押します



10. 選択区切りボックスが開きます。データ文字列内に区切り文字が見つかった場合、トランスレーターは自動的に区切り文字を強調表示します。この区切り文字を使用する場合は、[チェック]ボタンを押します。
11. 別の区切り文字が必要な場合は、その区切り文字を選択して[チェック]ボタンを押します。
12. トランスレーターが作成されます



[トランスレーター]メニュー



[名前]

トランスレーターの名前です。トランスレーター名を変更するには、名前を選択してから名前を編集し、[チェック]ボタンを押します。

[オブジェクト]

トランスレーターにリンクされるオブジェクトを選択します。これを変更するには、[オブジェクト]を選択し、ドロップダウンメニューから選択します。

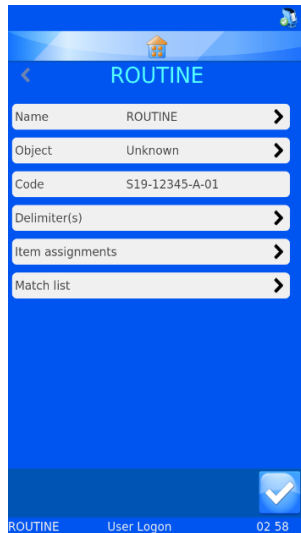
[コード]

トランスレーターの作成に使用されたコード、またはスキャンボックスからのより新しいコードを表示します。このボックスのデータを変更することはできません。

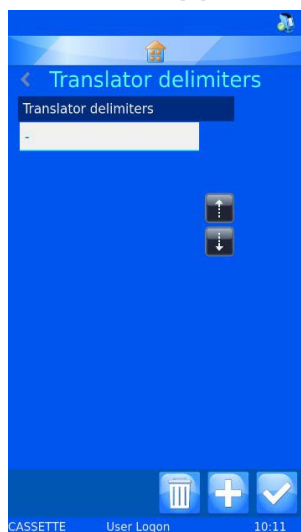
[アイテム割り当て]

トランスレーションプロセスにおける特定のデータに割り当てたアイテムを識別します。

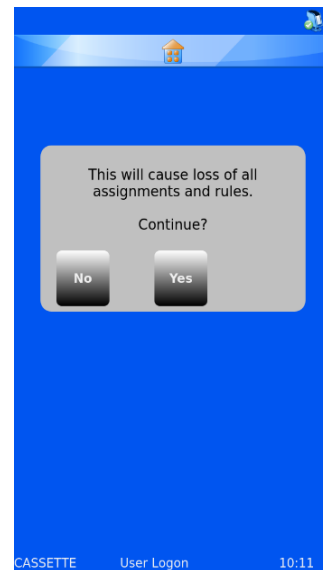
13. その他の区切り文字を追加するには、区切り文字を押します。



14. トランスレーターで使用される区切り文字のリストが表示されます。新しい区切り文字を追加するには、[+]ボタンを押します。



15. 確認ウィンドウが開きます。変更を確定するには、[はい]を押します

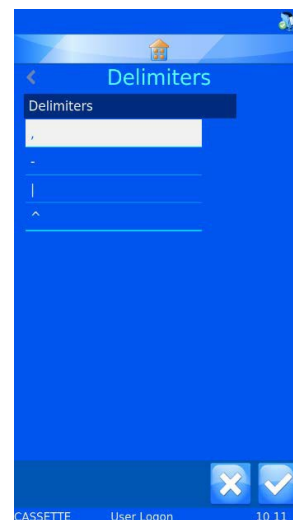


注記

この操作を行うと、すべての割り当てとルールが失われます。

16. 必要な区切り文字を選択して、[チェック]ボタンを押します。

区切り文字を追加するには、手順 13～15 を繰り返します

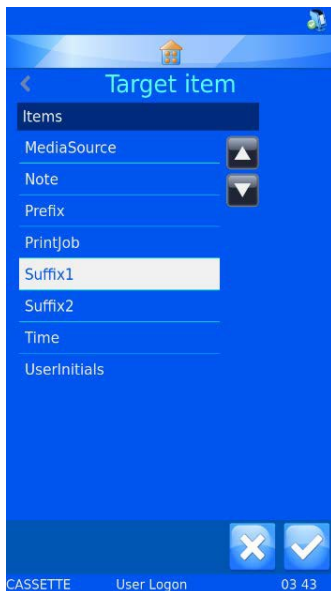


[アイテム割り当て]

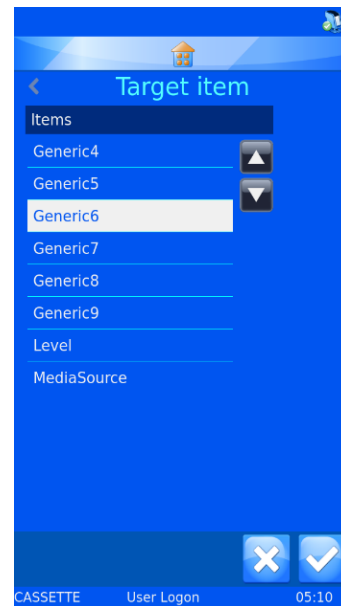
17. [アイテム割り当て]を変更するには、該当のアイテムを選択して、[編集]ボタンを押します。



18. 現在割り当てられているアイテムがハイライト表示されます。
19. 上下ボタンを押すと、他のアイテムが表示されます。



20. 新規アイテムを選択します
21. [チェック]ボタンを押します

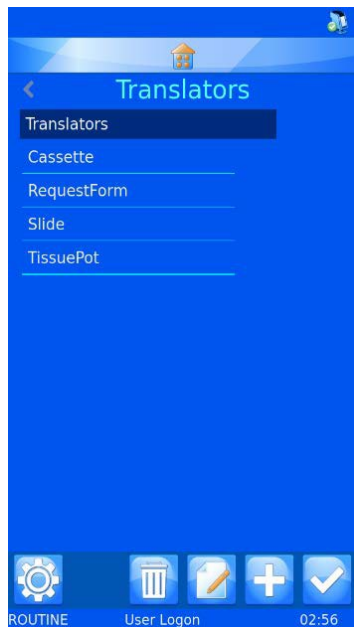


22. 新規割り当てが表示されます。
23. すべての割り当てが正しくなったら、[チェック]ボタンを押します。



[トランスレーターのプロパティ]メニュー

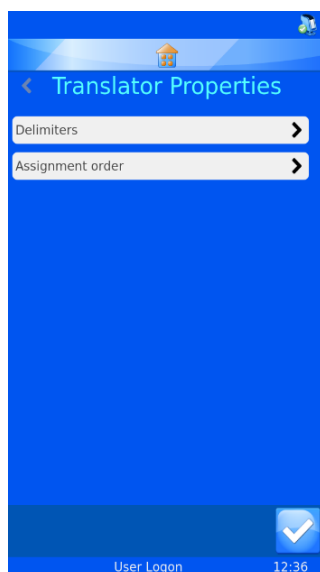
区切り文字のリストと、トランスレーターがデータアイテムを取り込む順序は、[トランスレーターのプロパティ]メニューを使用してカスタマイズできます。[トランスレーター]メニューで、[設定]ボタンを押します。



区切り文字

区切り文字を使用可能なリストに追加できます。

1. 区切り文字を追加するには、[区切り文字]ボタンを押します。



2. [+]ボタンを押します



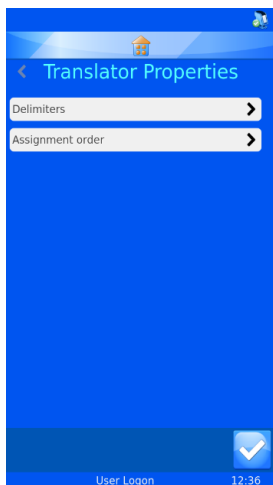
3. スクリーンキーボードのある入力ボックスが開き、新しい区切り文字を入力したり、統合スキャナーでスキャンしたりできます。
4. 画面キーボードに目的の区切り文字がない場合は、区切り文字を含めてバーコードをスキャンします。区切り文字のみが残るまですべての追加文字を削除し、[チェック]ボタンを押します。



[割り当て順]

データが自動的に割り当てられる順序は、ローカル設定に合わせて調整できます。順序を変更するには

1. [割り当て順]ボタンを押します



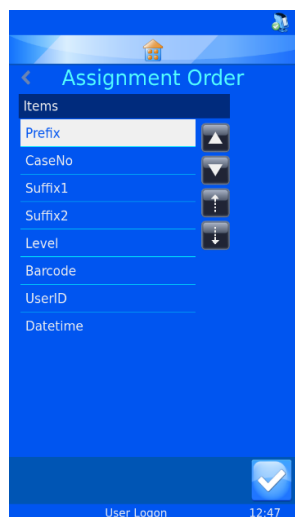
実線の上下矢印を押して、リストを上下にスクロールします。



ハイライト表示されたアイテムをリスト内で上下に移動するには、点線の矢印を押します。

2. アイテムが必要な順序になったら、[チェック]ボタンを押します。

この変更は既存のトランスレーターには影響しません。作成された新しいトランスレーターは、変更された順序を使用してアイテムにデータを割り当てます。



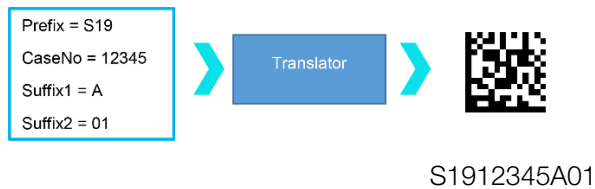
[固定長トランスレーター]

[固定長トランスレーター]は、区切り文字を含まないデータを分割するために使用されます。[固定長トランスレータ]は、データを区切るためにデータブロックの数を使用するため、データは常に同じ長さでなければなりません。データ長さが変更された場合、データは期待どおりに区切られません。

以下はスキャンしたバーコードからの受信データの例。

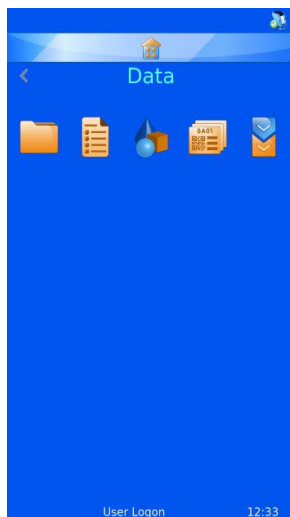


プリントされたバーコードの作成に使用される送信データの例

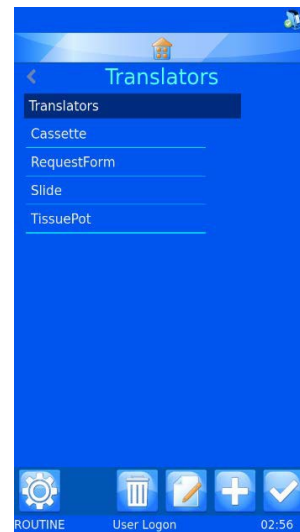


トランスレーターの追加 – 固定長データ

1. [設定]を押します
2. [データ]を押します
3. [トランスレーター]を押します



4. [追加]を押します



5. トランスレーターの名前を入力します
6. [チェック]ボタンを押します



7. [スキャンコード]または[入力コード]のボックスが開きます。この時ボックス内にデータはありません。

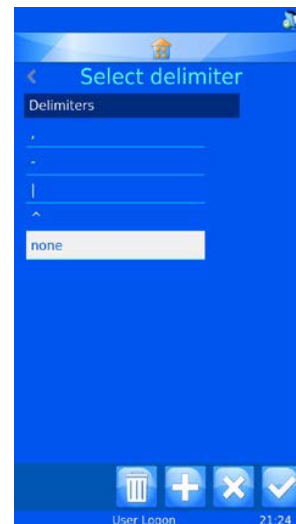


8. データは、キーボードを使用して入力するか、統合型スキャナを使用してスキャンするか、ソフトウェアから送信できます。データが[スキャンコード]ボックスに表示されます。
9. [チェック]ボタンを押します



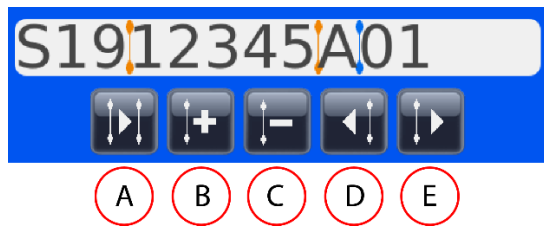
10. [区切り文字を選択]ボックスが開きます。トランスレーターには区切り文字は表示されないため、利用可能なオプションはありません。

11. [チェック]ボタンを押します



[データ文字列を分割する]

データ文字列が必要な複数のデータ要素に分割されます。



- A 次の分割バーを選択します
- B 新しい分割バーを追加します
- C 選択した分割バーを除去します
- D 分割バーを左に1文字分移動します
- E 分割バーを右に1文字分移動します



[データ分割バー]

選択した分割バー

12. [+]ボタンを押すと新しい分割バーが追加されます



13. 最初の使用可能なスペースに分割バーが表示されます。右矢印を押すと、分割バーを右に移動できます。この例では、右矢印を2回押して、分割バーを右に2文字分移動しています。



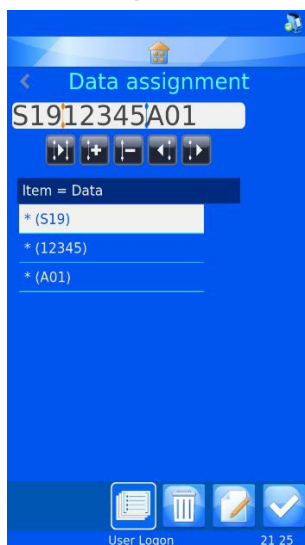
14. 分割バーは右に2文字分移動し、* (s19) は「アイテム = データ」の下で最初のボックスに一覧表示されます。
15. [分割バーの追加]ボタンを押します。



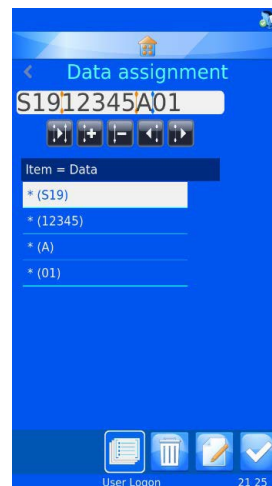
16. 2 つ目の分割バーは次の使用可能なスペースに表示されます。
17. 右のボタンを押して、次のデータブロックをキャプチャします。この例では、右矢印ボタンを 4 回押します。



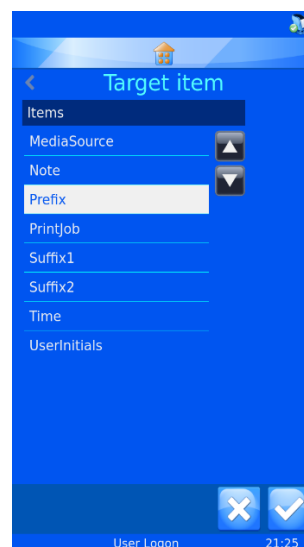
18. 分割バーが右に 4 文字分移動します。
19. [分割バーの追加]ボタンを押します。



20. データがスペースの数に基づいて区切られるようになりました。
21. 最初のデータブロックをアイテムに割り当てるには、最初ブロックがハイライト表示された状態で[編集]ボタンを押します。



22. [ターゲットアイテム]を押します
23. [チェック]ボタンを押します
24. すべてのデータブロックがアイテムに割り当てられるまで、この操作を繰り返します。



25. [チェック]ボタンを押します。

Item = Data
Prefix = S19
CaseNo = 12345
Suffix1 = A
Suffix2 = 01

必要に応じて、オブジェクトを割り当てることができます

トランスレーターが作成され、使用準備が整いました。

Name ROUTINE
Object Unknown
Code S1912345A01
Item assignments



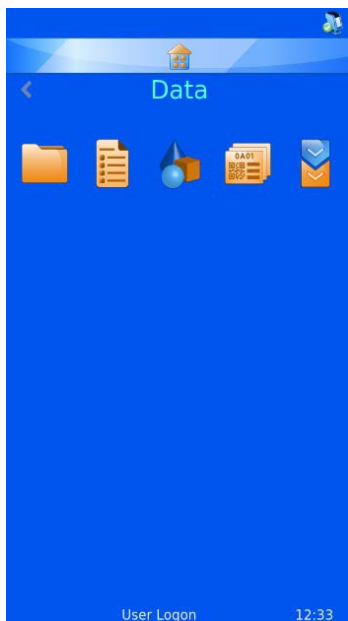
[テンプレート]

[テンプレート]は、データフィールドとバーコードの印字方法を決定します。フォント、フォントサイズ、バーコードを利用してレイアウトを設計できます。テンプレートの端とバーコードの周りに余白を置くことが重要です。

新しいテンプレートを作成するときにトランスレーターを選択すると、テンプレートの作成が簡単になります。トランスレーターを選択すると、トランスレーターで 사용되는アイテムがテンプレートに自動的に入力され、新しいテンプレートの作成に必要な労力が削減されます。

新規テンプレートの作成

1. [設定]を押します
2. [データ]を押します
3. [テンプレート]を押します



4. [+]ボタンを押します



5. [名前]メニューが開きます



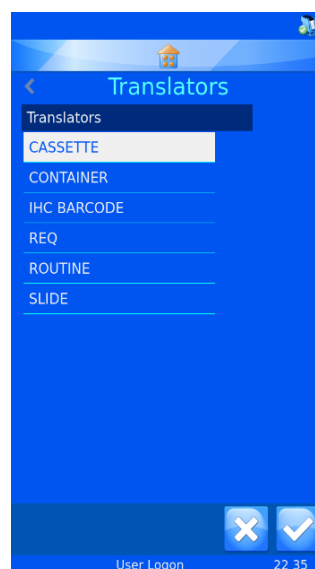
6. 希望のテンプレート名を入力します
7. [チェック]ボタンを押します



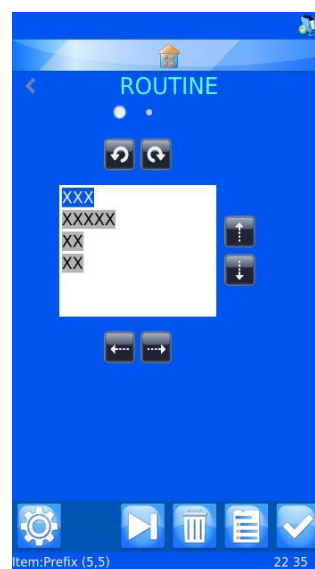
8. 「トランスレーターを使用しますか?」というボックスが表示されるので、トランスレーターを使用できる場合は[はい]を押します。
トランスレーターを使用しない場合は、すべてのラベルアイテムを手動でテンプレートに追加する必要があります。



9. トランスレーターを選択して、[チェック]ボタンを押します。



10. トランスレーターで定義されたアイテムは、テンプレートに自動的に追加されます。
11. アイテムを移動して、フォントとフォントサイズを調整して、希望のラベルデザインを作成できます。



テンプレートの編集

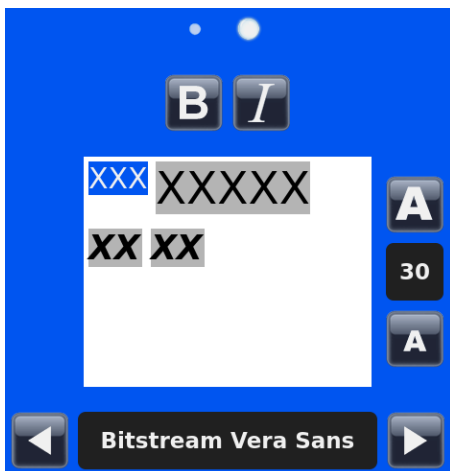


 2つのフォーマット作成メニューを切り替えます

 ハイライト表示したオブジェクトを左右に回転します

 ハイライト表示したオブジェクトを上下に移動します

 ハイライト表示したオブジェクトを左右に移動します



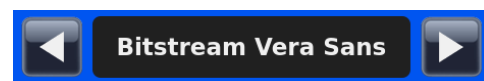
 ハイライト表示したオブジェクトの標準/太字を切り替えます

 ハイライト表示したオブジェクトの標準/斜体に切り替えます



ハイライト表示したオブジェクトのフォントサイズを調節します

ハイライト表示したオブジェクトのフォントサイズを調節します

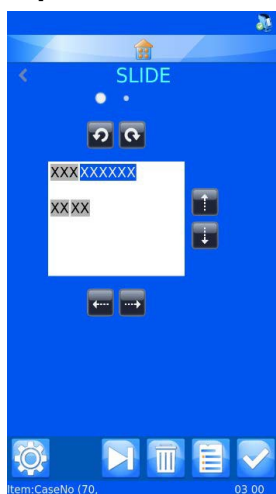


アイテムをテンプレートに追加

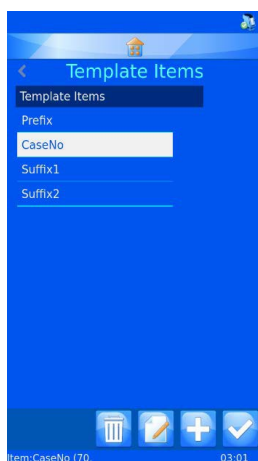
テンプレートにアイテムを追加すると、トランスレーターのデータに含まれているよりも多くの情報を提供できます。これらのアイテムは手動で追加する必要があり、最小限の構成が必要です。スライドを印字する場合、これらのアイテムを追加する補足データを入力する必要があります。アイテムのデフォルト設定が表示され、キーボードからデータを入力するか、ドロップダウンメニューから選択するか、増分設定を使用して変更できます。

[テンプレート]メニューから

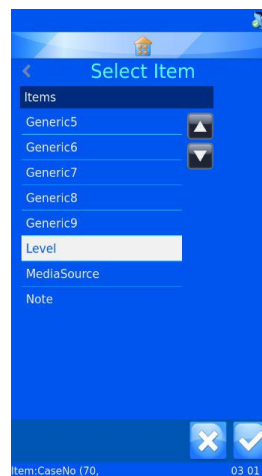
1. [アイテム]ボタンを押します



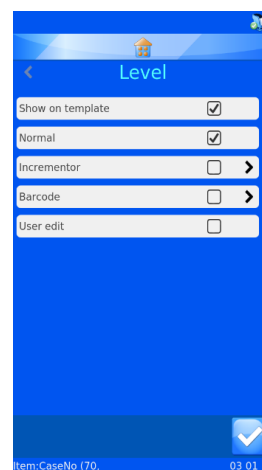
2. 現在のアイテム一覧が表示されます
3. [+]ボタンを押します



4. アイテムの一覧が表示されるので、正しいアイテムを選択します。
5. [チェック]ボタンを押します。



[アイテム構成]メニューが表示されます



注記

[ノーマル]、[インクリメンター]、[バーコード]、および[ユーザー編集]は一意であり、常に1つだけをチェック可能です。チェックされていないボックスがチェックされると、残りの3つは自動的にオフになります

[ノーマル] – チェックすると、テンプレートに表示されますが、アイテムは編集できません。

[インクリメンター] – チェックすると、アイテムは追加のスライドごとに増加します。

[バーコード] – アイテムはバーコードとして表示され、追加の構成が必要になります。

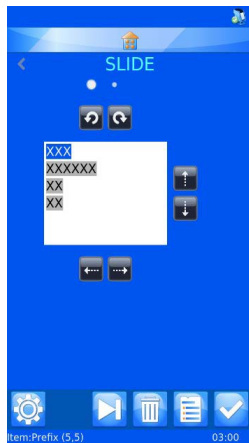
[ユーザー編集] – チェックすると、アイテムは印字前に編集できます。

バーコードをテンプレートに追加

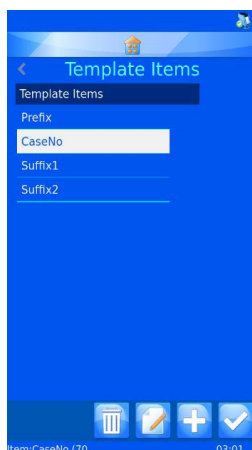
バーコードは印字目的用のテンプレートに追加できます。バーコードには、ここでさらに説明する追加の構成が必要です。

[テンプレート]の[エディタ]メニューからバーコードを作成するには

1. [アイテム]ボタンを押します



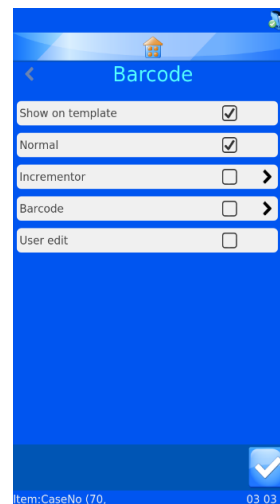
2. [+]ボタンを押します



3. アイテムを選択します
4. [チェック]ボタンを押します

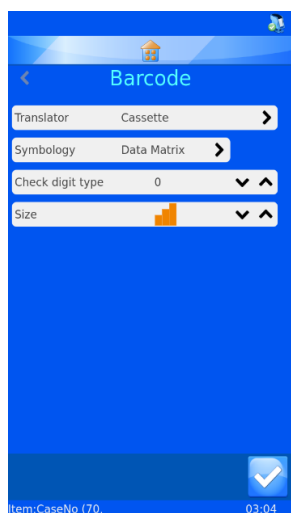


5. [アイテムのプロパティ]メニューが表示されます
6. [バーコード]ボックスをチェックします



7. [バーコード設定]メニューが表示されます
8. 正しいトランスレーターを選択します
9. 希望するバーコードの種類を選択します
10. 必要の場合はチェックディジットタイプを選択します

11. バーコードのサイズを選択します。この選択に関係なく、高品質のバーコードを印字する必要がある場合は、バーコードのサイズは自動的に増加します。

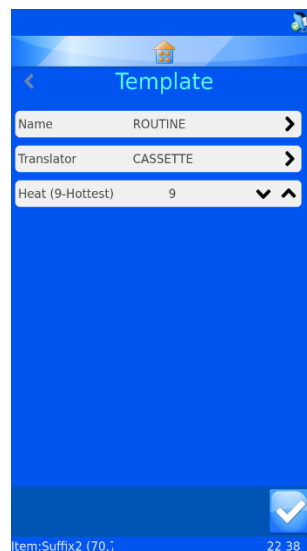


12. [チェック]ボタンを押すと、バーコード付きのテンプレートが表示されます。[方向]ボタンを使用して、バーコードを方向付けることができます。
13. 入力を完了したら[チェック]ボタンを押します。



[テンプレート設定]

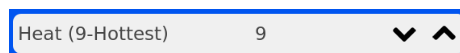
[テンプレート設定]にアクセスするには、[テンプレート]の[設定]ボタンを押します。設定は選択したテンプレートに固有のものであり、各テンプレートには独自の設定メニューがあります。



[名前]ボタンは、テンプレートの名前を変更するために使用されます



[トランスレーター]ボタンは、テンプレートで使用するトランスレーターを選択するために使用します



[加熱]ボタンは、印字時にテンプレートが使用する加熱レベルを調整するために使用します。設定範囲は0～9です。0が最低の設定で、9が最高の設定です。

[加熱設定]

[加熱設定]は、スライド表面の変動を補正するために調整することができます。各スライドのメーカーは、表面を若干変えて提供し、スライドが滑らかであるほど、印字物の転写に必要な熱が少なくなるようにしています。一般的に、最も信頼性の高いパフォーマンスを得るには、良好な印字結果を達成する最低の加熱設定を使用する必要があります。

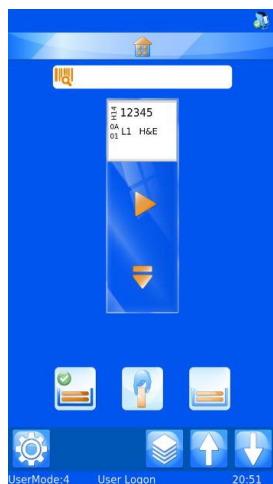
高度な印字機能

テンプレートエディタ

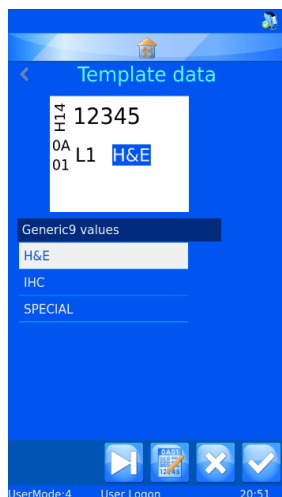
テンプレートの作成時にユーザー編集用に設定されたアイテムは、スライドラベルに特定の情報を追加するために編集できます。これらの編集可能なアイテムの情報は、各スライドに固有のもので、すべてのスライドが同じデータを有する必要はありません。

テンプレートアイテムを編集するには

1. スライドのラベル領域を押します



2. テンプレートエディタが表示され、編集可能なアイテムはハイライト表示されます。



タブキーを操作して編集可能なアイテムを切り替えます

編集可能なアイテムは、アイテムおよびトランスレーターで設定された方法に基づいて編集できます。キーボードから入力する情報が必要なアイテムもあれば、ドロップダウンボックスを使用して選択するアイテムもあります。

編集可能なアイテムへの変更は、ケースのバーコードがスキャンされた後に行う必要があります。

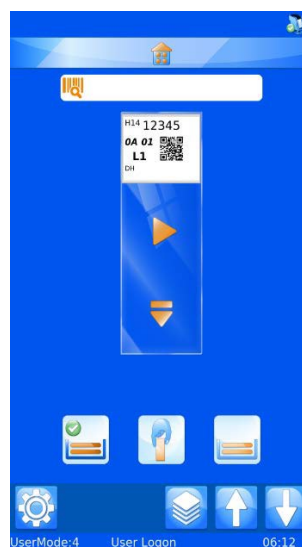
3. 編集可能なアイテムに必要な変更を加えます
4. [チェック]ボタンを押します

テンプレートの選択

様々な印字テンプレートを作成し、印字に使用できます。

別のテンプレートを選択するには

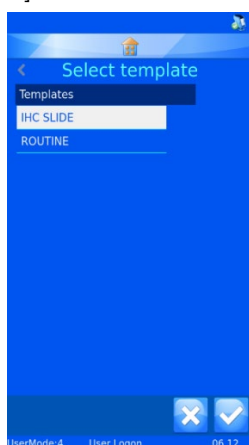
5. ホーム画面のテンプレート領域を押します



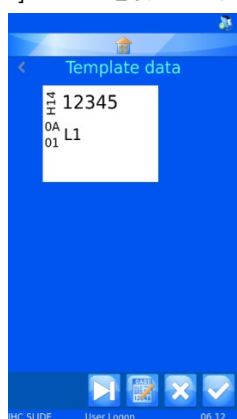
6. テンプレートエディタが表示されるので、[テンプレート]ボタンを押します。



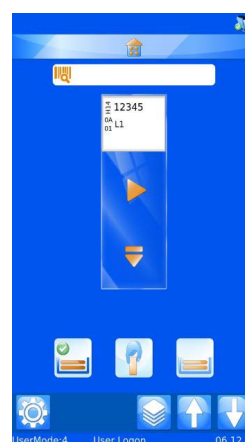
7. テンプレートの一覧が表示されるので、目的のテンプレートを選択します。
8. [チェック]ボタンを押します



9. テンプレートエディタが表示されるので、[チェック]ボタンを押します。



代替テンプレートがホーム画面に表示されます

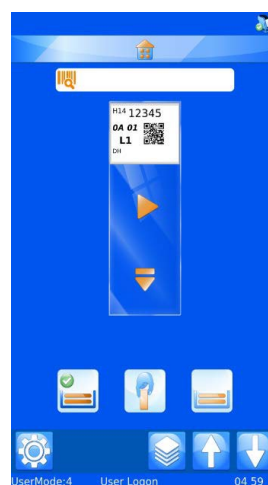


スライドシーケンスの作成

単一のデータ入力から複数のスライドを印字することができ、これは、「シーケンス印字」と呼ばれます。シーケンス印字は、インクリメンターが構成されているテンプレートを使用してのみ実行できます。

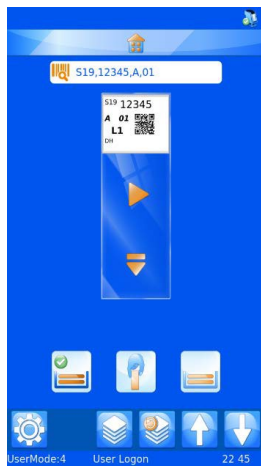
スライドのシーケンスを作成するには、ユーザーがメイン画面にログインして表示されている必要があります。

1. 適切なデータを含むバーコードをスキャンします



2. データを含んだスキャンボックスが生成されます

3. [シーケンス]ボタンを押します



[シーケンス作成]メニューが表示されます。



このボックスには、TO（終了）とFROM（開始）データが表示されます。上下矢印を押すことで、ハイライト表示されたデータを増減できます。左のボックスデータは、シーケンスの最初のスライドに印刷されます。右側のボックスのデータは、シーケンスの最後のスライドに印刷されます。2つのデータ間の数値ごとに1枚のスライドがあります。

4. 10枚のスライドのシーケンスを作成するには、上矢印を9回押します。
5. [チェック]ボタンを押します



6. 10枚のスライドが作成されます。
7. スライドを印字するには、[実行]ボタンまたは[ホッパー]ボタンを押します



プロトコルの作成

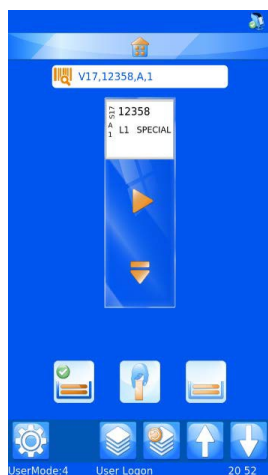
プロトコルとは、保存されたスライドのシーケンスのことです。スライドシーケンスが作成されると、このシーケンスは後で呼び出せるようにプロトコルとして保存できます。プロトコルを使用すれば、ユーザーはスライドのバッチを素早く作成することができます。シーケンスのカスタム部分は、次のプロトコルとともに保存されます。

- [テンプレート]
- 増分アイテム
- 編集可能なアイテム

例 1 – 編集済みアイテムを含むプロトコルを保存する

この例では、ユーザーの編集アイテムは3つの選択肢で作成しています。[H&E]、[スペシャル]および[IHC]

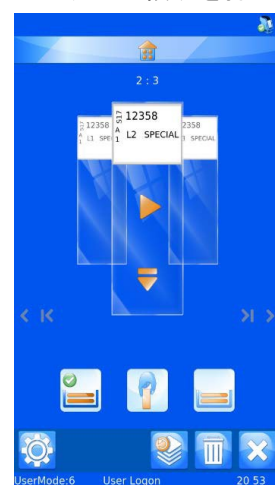
1. スライド用にフォーマットしたデータでバーコードをスキャンします
2. ラベルは正しいデータで生成されます



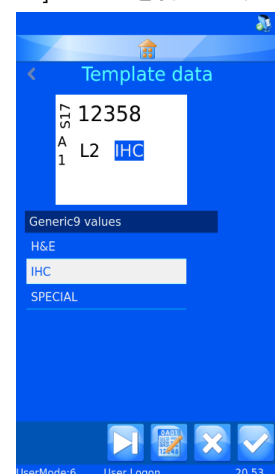
3. 3枚のスライドのシーケンスを作成します
4. [1枚のスライドを左に移動]ボタンを押します



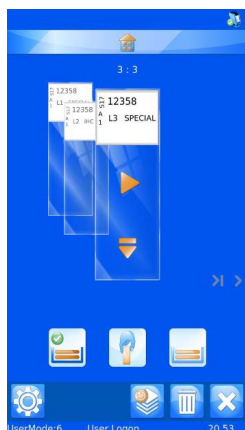
5. スライドのラベル領域を押します



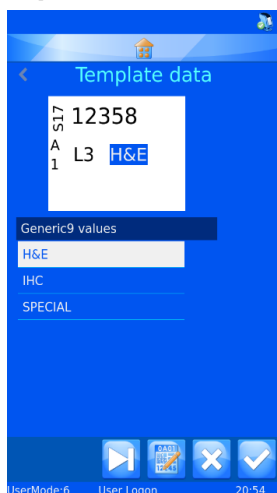
6. ドロップダウンメニューから項目を選択します
7. [チェック]ボタンを押します



8. [1枚のスライドを左に移動]ボタンを押します
9. スライドのラベル領域を押します



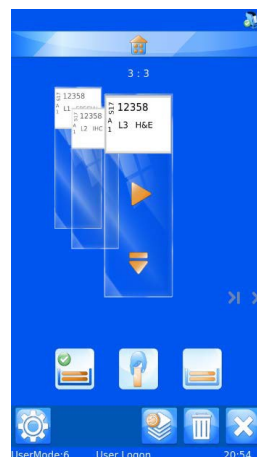
10. ドロップダウンメニューから項目を選択します
11. [チェック]ボタンを押します



12. 各スライドに一意のデータを持つ3枚のスライドのシーケンスができました



[プロトコル]ボタンは、プロトコルの保存またはプロトコルの呼び出しに使用します



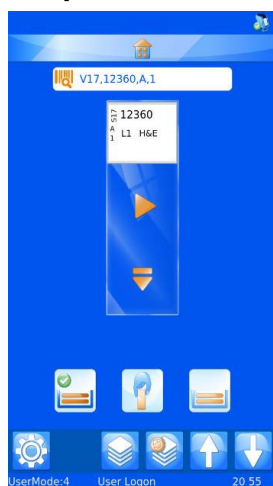
13. [プロトコル]ボタンを押します
14. [プロトコル名]メニューが開くので、名前を入力します
15. [チェック]ボタンを押すとプロトコルを保存します



プロトコルの呼び出し

スライドのシーケンスが表示されたら、[プロトコル]ボタンをクリックすると[プロトコルの保存]メニューが開きます。スライドが1枚表示されている場合、[プロトコル]ボタンをクリックすると、[プロトコル選択リスト]が開きます

1. 適切なデータを含むバーコードをスキャンします。
2. [プロトコル]ボタンを押します



3. 保存したプロトコルを選択します
4. [チェック]ボタンを押します



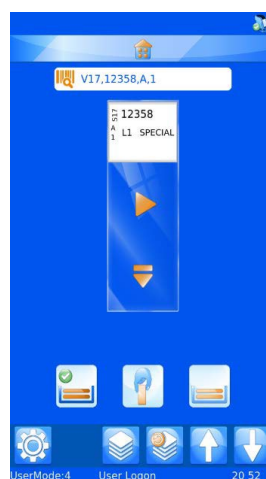
5. スライドが作成されます



例 2 – 編集済みアイテムと異なるテンプレートを含むプロトコルを保存する

この例では、2のテンプレートを作成しており、ユーザーの編集アイテムは3つの選択肢で作成しています。[H&E]、[スペシャル]および[IHC]

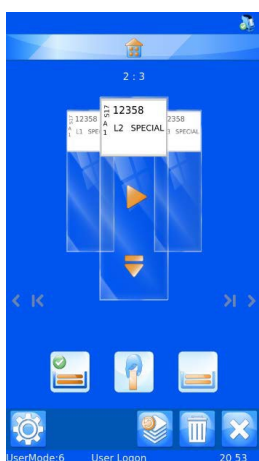
1. スライド用にフォーマットしたデータでバーコードをスキャンします
2. ラベルは正しいデータで生成されます。



3. 3枚のスライドのシーケンスを作成します
4. [1枚のスライドを左に移動]ボタンを押します



5. スライドのラベル領域を押します

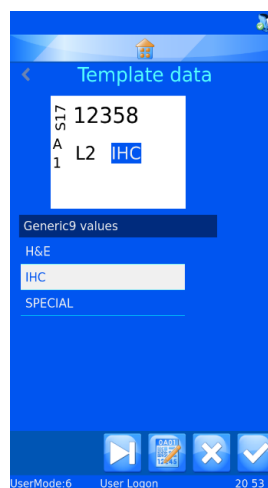


6. ドロップダウンメニューから項目を選択します

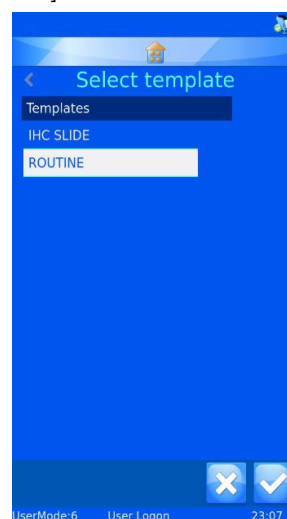


[テンプレート]ボタンは、使用可能なテンプレートの一覧にアクセスするために使用します

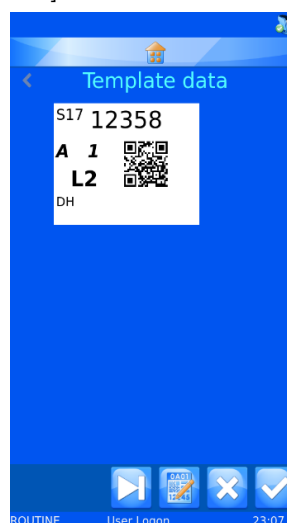
7. [テンプレート]ボタンを押します



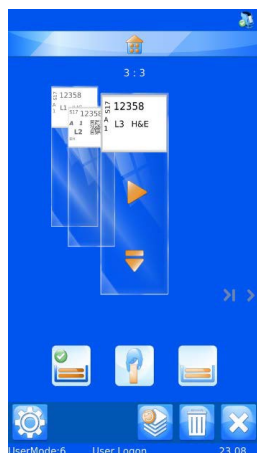
8. テンプレートを1つ選択します
9. [チェック]ボタンを押します



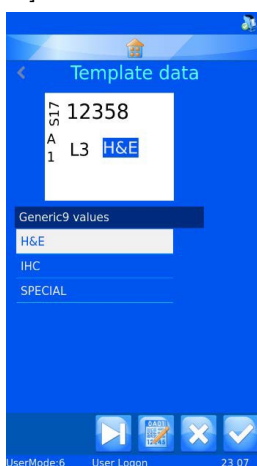
10. [チェック]ボタンを押します



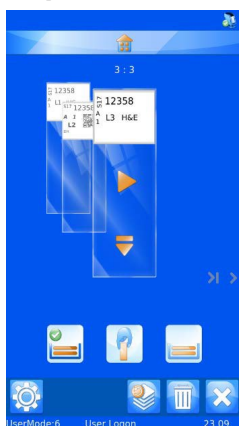
11. [1枚のスライドを左に移動]ボタンを押します
12. スライドのラベル領域を押します



13. ドロップダウンメニューから項目を選択します
14. [チェック]ボタンを押します



15. 各スライドに一意のデータを持つ3枚のスライドのシーケンスができました
16. [プロトコル]ボタンを押します

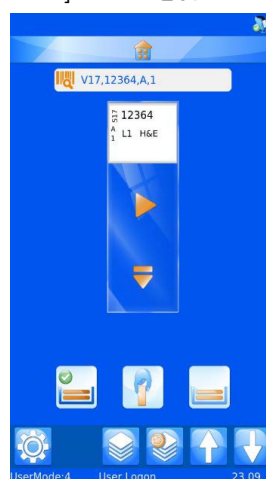


17. [プロトコル名]メニューが開くので、名前を入力します
18. [チェック]ボタンを押すとプロトコルを保存します



プロトコルの呼び出し

19. 適切なデータを含むバーコードをスキャンします
20. [プロトコル]ボタンを押します



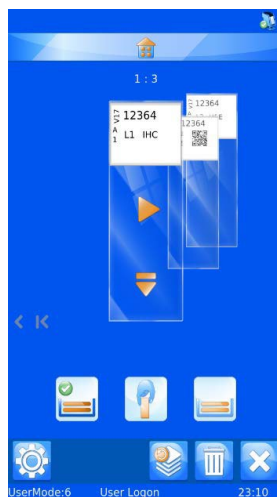
21. 保存したプロトコルを選択します
22. [チェック]ボタンを押します



23. スライドが作成されます

注記

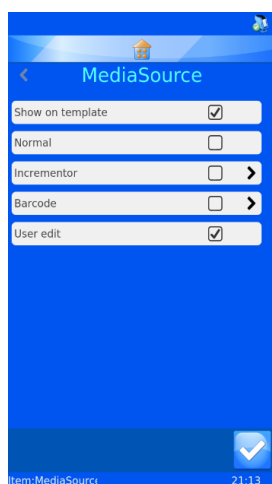
プロトコルを削除するには、ユーザーが[プロトコル]メニューを開いている必要があります。削除するプロトコルをハイライト表示し、[ごみ箱]ボタンを押します



高度なホッパー機能

ディスペンス位置は、ラベルごとに手動で選択できます。また、ルールまたはプロトコルを使用して、選択プロセスを自動化することもできます。ホッパーは、MediaSourceというアイテムを使用してスライドプリンタで選択されます。MediaSourceをプロトコルおよびルール内で使用して、適切なディスペンスホッパーの位置を自動的に割り当てることができます。

MediaSource をテンプレートに追加する



MediaSourceアイテムはテンプレートに追加することができます。この操作を行うと、ユーザーはスライドを印字する前にテンプレート内からホッパーの位置を選択できます。手動ホッパー選択を使用するには、テンプレートの表示とユーザー編集をチェックする必要があります。これは、スライド上に表示されないように、印字領域外に配置できます。

ホッパーの選択

ホッパーは、印字前にスライドに割り当てることができます。テンプレートには、ラベルのMediaSource部分が含まれている必要があります。

1. スライドのラベル領域を押します



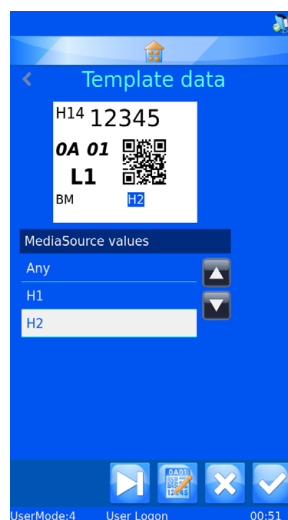
2. 必要に応じてホッパーセクタにタブを付けます

3. 希望するホッパーを選択します

4. [チェック]ボタンを押します



ホッパーはキュー内のすべてのスライドに設定でき、プロトコルの一部として保存できます。





トランスレーターの ルール

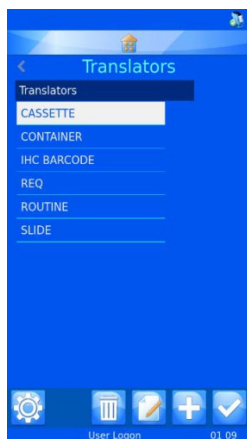
トランスレーターには、一部のソフトウェアおよびプリンタ機能を自動化できるルール機能が含まれています。ルールは複数存在し、テンプレート、アイテム、データ、ホッパー、シーケンス、およびプロトコルに変更を適用できます。ルールについては本ガイドで一般事項を説明しています。ルールの操作を完全に理解するには、試行錯誤が必要になる場合があります。

トランスレーター内のアイテムに対してルールが適用されます。これらのルールは、受信データをルール規則と比較し、ルールを適用するか適用しないかを判定します。この比較プロセスは、レコードがスキャンされるか、手動で入力されるか、Windowsドライバからインポートされるたびに適用されます。トランスレーター内では、一部またはすべてのアイテムに対してルールを適用できます。データが入力されると、トランスレーターのすべてのルールがデータに適用されます。1つのルールが他のルールに影響を与える可能性があるため、ルールから予期しない結果が得られた場合は、すべてのルールがデータに与える影響を再確認してください。

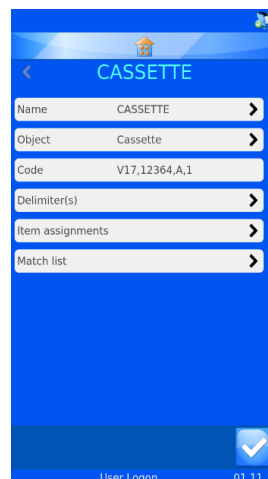
新規ルールの作成

新しいルールを作成するために、トランスレーターのアイテムに対してルールが作成されます。

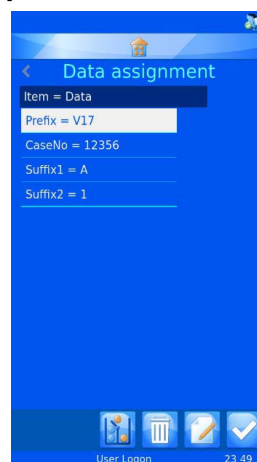
1. [設定]ボタンを押します
2. [データ]ボタンを押します
3. [トランスレーター]ボタンを押します
4. 編集対象のトランスレーターを選択します
5. [編集]ボタンを押します



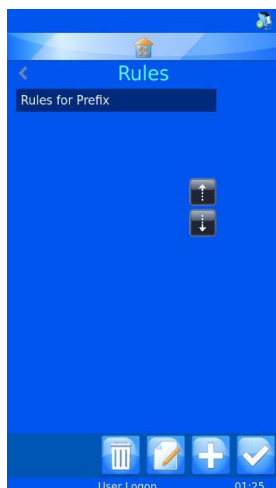
6. [アイテム割り当て]ボタンを押します



7. ルールが作成されるアイテムを選択します
8. [ルール]ボタンを押します



9. [追加]ボタンを押します



10. ルール名ボックスが開き、名前を入力し、[チェック]ボックスを押します

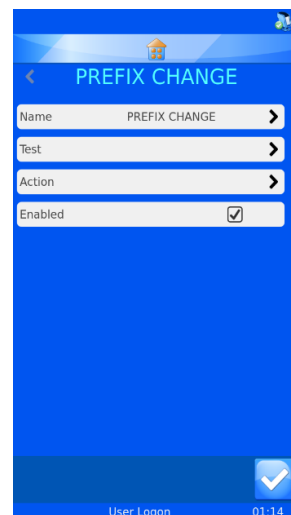


ルール構成メニューが開きます

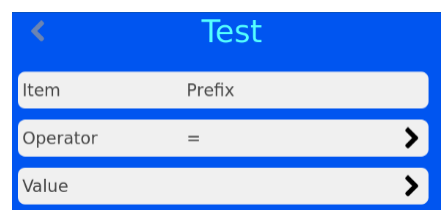
ルールとは、テストとアクションを含む機能です。テストは、テストの対象となるデータの合否を決定する方程式です。

テストでPASS（合格）が生成されると、ルールアクションが実行されます。

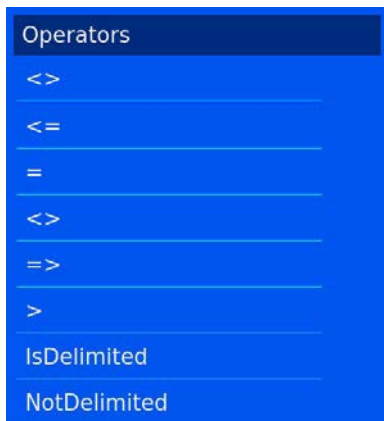
テストでFAIL（不合格）が生成されると、ルールアクションが実行されます。



テストでは、演算子を使用してアイテムと値を比較します



演算子のリストには、一般的な数式記号とIsDelimitedおよびNotDelimited演算子が含まれます。



<>

この演算子は、データがアイテムと等しくないかどうかを判定します

<=

この演算子は、データがアイテム以下であるかどうかを判定します

=

この演算子は、データがアイテムと等しいかどうかを判定します

<>

この演算子は、データがアイテムと等しくないかどうかを判定します

=>

この演算子は、データがアイテム以上であるかどうかを判定します

>

この演算子は、データがアイテムより大きいかどうかを判定します

IsDelimited

この演算子は、特定の区切り文字がテキスト文字列に含まれるかどうかを判定します

NotDelimited

この演算子は、特定の区切り文字がテキスト文字列に含まれないかどうかを判定します

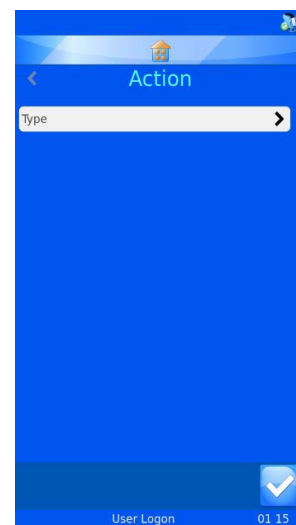
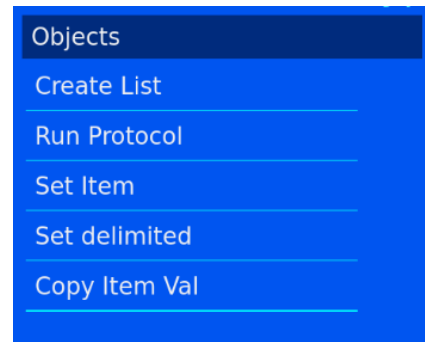
値は、アイテムデータと比較されるデータです。アイテムがS19で、その値がS19で、演算子がequals（等しい）に設定されている場合、テストはPASSを生成します

S19	=	S19	PASS
-----	---	-----	------

S18	=	S19	FAIL
-----	---	-----	------

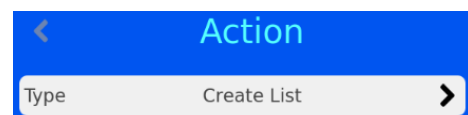
ルールメニューからアクションを選択し、アクションの種類を選択します。

アクションに使用できるオブジェクトのリストは次のとおりです。



[リストを作成する]

このオブジェクトは、アイテムのプロパティで設定されたリストに基づいて一連のスライドを作成します。このオブジェクトを使用するには、アイテムをリストとして設定する必要があります。



[プロトコルを実行する]

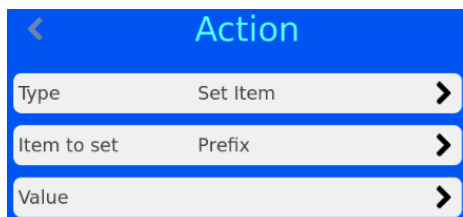
このオブジェクトは、テストに合格（PASS）すると指定されたプロトコルを実行します。実行するプロトコルは、アクション内で設定する必要があります。このアクションを選択してバーコードをスキャンすると、プロトコル内のスライドの数が画面に自動的に入力されます。



The screenshot shows a blue header with a back arrow and the title 'Action'. Below the header are two white input fields with blue borders. The first field is labeled 'Type' and contains the text 'Run Protocol'. The second field is labeled 'Protocol' and contains the text 'LIVER'. Both fields have a right-pointing arrow icon on the right side.

[アイテムを設定する]

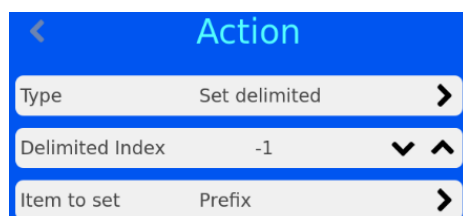
このオブジェクトは、テストに合格したときにアイテムを特定の値に設定します。アイテムの設定では、ルールの実行対象のアイテムを含む特定の値に任意のアイテムを設定できます。設定するアイテムと値は、ルールで定義する必要があります。



The screenshot shows a blue header with a back arrow and the title 'Action'. Below the header are three white input fields with blue borders. The first field is labeled 'Type' and contains the text 'Set Item'. The second field is labeled 'Item to set' and contains the text 'Prefix'. The third field is labeled 'Value' and is empty. All fields have a right-pointing arrow icon on the right side.

[区切り文字を設定する]

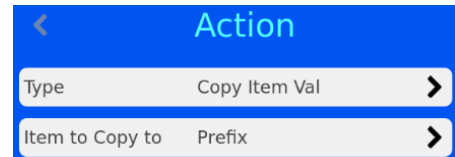
このオブジェクトは、トランスレーターが使用しない区切り文字を使用してアイテムをさらに区切ります。区切り文字インデックスは、区切り文字に相対的なデータ位置です。つまり、最初の区切り文字の前のデータは「0」で、最初のデリミタの後のデータは「1」です。設定するアイテムは、データのコピー先のアイテムです。



The screenshot shows a blue header with a back arrow and the title 'Action'. Below the header are three white input fields with blue borders. The first field is labeled 'Type' and contains the text 'Set delimited'. The second field is labeled 'Delimited Index' and contains the text '-1'. The third field is labeled 'Item to set' and contains the text 'Prefix'. All fields have a right-pointing arrow icon on the right side.

[アイテムの値をコピーする]

このオブジェクトは、アイテムの値を別のアイテムにコピーします。ユーザーは、コピーするアイテムを設定する必要があります。



The screenshot shows a blue header with a back arrow and the title 'Action'. Below the header are two white input fields with blue borders. The first field is labeled 'Type' and contains the text 'Copy Item Val'. The second field is labeled 'Item to Copy to' and is empty. Both fields have a right-pointing arrow icon on the right side.

IsDelimitedとSetDelimitedを使用するルールは最も複雑で、理解が難しいものです。これを明確にするために、これらの使用方法の例を以下に示します。

例

この例では、トランスレーターはすでに以下のデータを変換するためにセットアップされています。

S19,12345,A,Liver;H&E

トランスレーターはコンマのみを使用し、後でIsDelimitedおよびSetDelimitedにセミコロンが使用されます。

新規ルールの作成

1. トランスレーターメニューで、[アイテム割り当て]ボタンを押します
2. 設定されるルールのアイテムをハイライト表示します
3. [ルール]ボタンを押します



The screenshot shows a blue header with a back arrow and the title 'Data assignment'. Below the header are four white input fields with blue borders. The first field is labeled 'Item = Data' and contains the text 'Data'. The second field is labeled 'Prefix = V17' and contains the text 'V17'. The third field is labeled 'CaseNo = 12356' and contains the text '12356'. The fourth field is labeled 'Suffix1 = A' and contains the text 'A'. Below these fields is a white input field with a blue border labeled 'Suffix2 = 1' and containing the text '1'. At the bottom of the screen are four icons: a magnifying glass, a trash can, a document, and a checkmark. Below the icons are the labels 'User Logon' and '00:13'.

4. [ルール]メニューが表示されるので、[追加]ボタンを押します



5. ルール名を入力します
6. [チェック]ボタンを押します



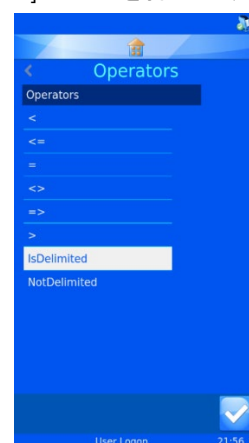
7. 区切り文字 1 のルール用にメニューが表示されます
8. [テスト]ボタンを押します



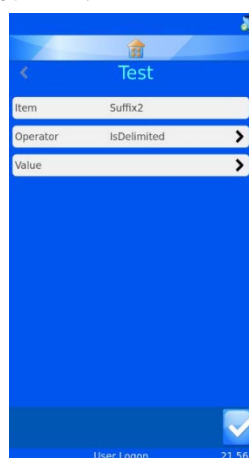
9. [テスト]メニューが表示されるので、[演算子]ボタンを押します



10. [操作]メニューが表示されるので、[isdelimited]オプションをハイライト表示します
11. [チェック]ボタンを押します



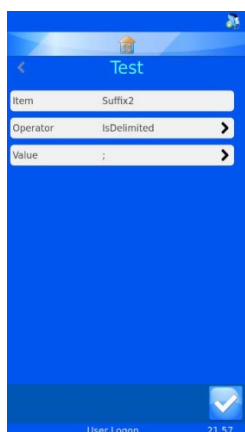
12. [テスト]メニューが表示されるので、[値]ボタンを押します



13. 区切り文字を[値]ボックスに入力します
14. [チェック]ボタンを押します



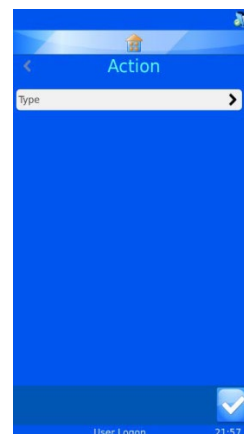
15. [テスト]メニューが表示され、選択アイテムが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



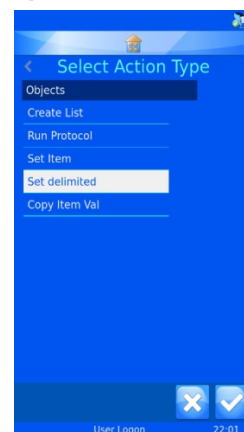
16. [delimiter1]メニューが表示されるので、[アクション]ボタンを押します



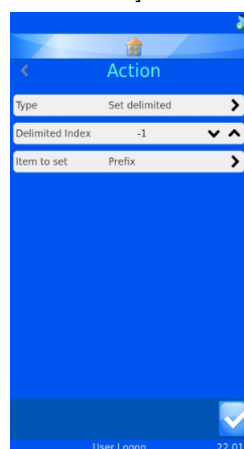
17. [タイプ]ボタンを押します



18. [選択したアクションタイプ]メニューが表示されるので、区切り文字をの設定を選択します
19. [チェック]ボタンを押します

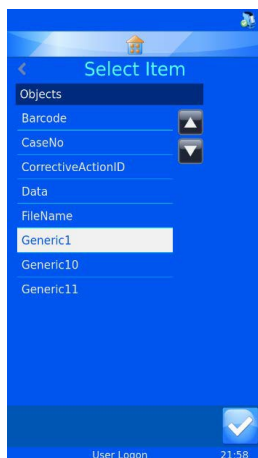


20. [アクション]メニューが表示されます。上矢印を1回押して、区切り文字インデックスを「0」に設定します
21. [設定するアイテム]ボタンを押します

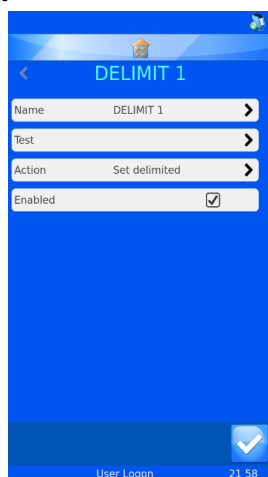


22. [選択したアイテム]メニューが表示されるので、[generic1]を選択します

23. [チェック]ボタンを押します



24. [delimiter 1]メニューが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



25. [ルール]メニューが表示されるので、[追加]ボタンを押します

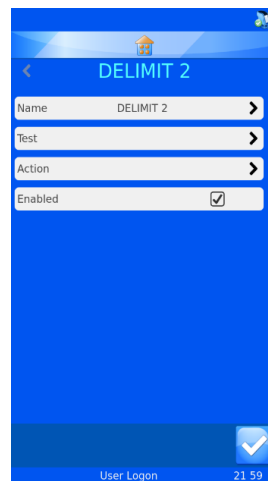


26. [名前]メニューが表示されるので、ルール名を入力します

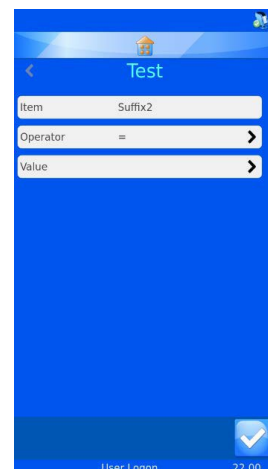
27. [チェック]ボタンを押します



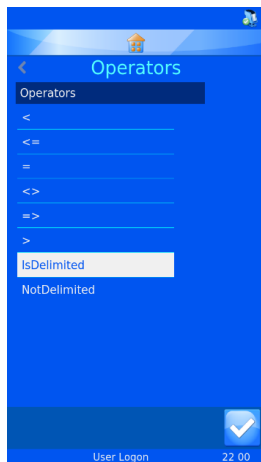
28. [delimiter2]メニューが表示されるので、[テスト]ボタンを押します



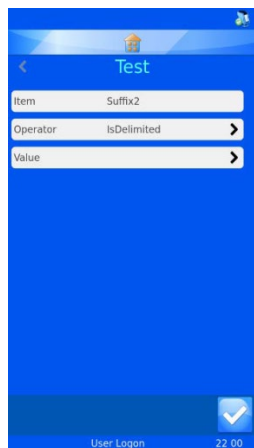
29. [テスト]メニューが表示されるので、[演算子]ボタンを押します



30. [操作]メニューが表示されるので、
isdelimited 演算子をハイライト表示します
31. [チェック]ボタンを押します



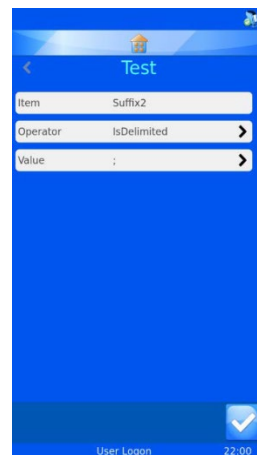
32. [テスト]メニューが表示されるので、[値]ボタンを押します



33. [値]メニューが表示されるので、正しい区切り文字を入力します
34. [チェック]ボタンを押します



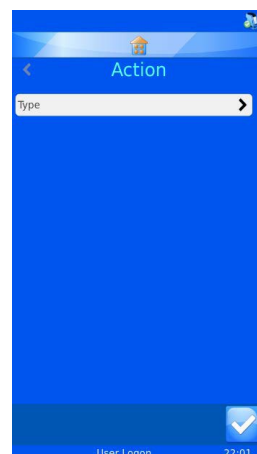
35. [テスト]メニューが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



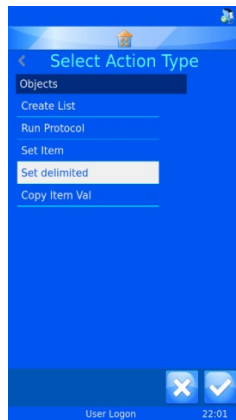
36. [delimiter 2]メニューが表示されるので、[アクション]ボタンを押します



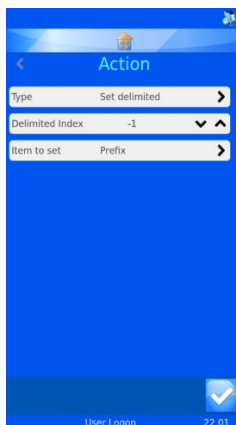
37. [アクション]メニューが表示されるので、[入力]ボタンを押します



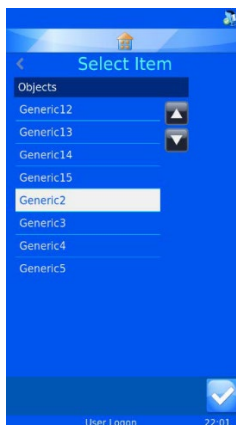
38. [選択したアクションタイプ]メニューが表示されます。[区切り文字の設定]アクションタイプを選択します
39. [チェック]ボタンを押します



40. [アクション]メニューが表示されます。上矢印を2回押して、区切り文字インデックスを「1」に設定します
41. [設定するアイテム]ボタンを押します



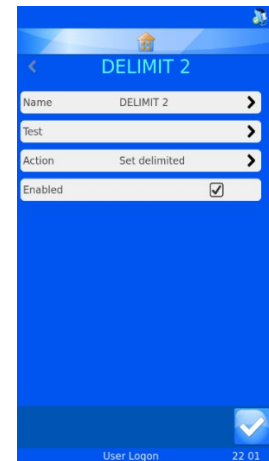
42. [選択したアイテム]メニューが表示されるので、[generic2 アイテム]を選択します
43. [チェック]ボタンを押します



44. [アクション]メニューが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



45. [delimit 2]メニューが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



46. [ルール]メニューが表示されるので、[チェック]ボタンを押します



47. [データ割り当て]メニューが表示されるので、[ホーム]ボタンを押します



トラブルシューティング

印字品質

通常、印字品質の低下は、スライドの印字可能な表面上の傷またはそこに付いた破片が原因で起こります。最高の印字品質にするために、印字可能な表面はスライドの幅全体で均一な厚さである必要があります。滑らかで、コーティングにゴミやほこりが付いていない必要があります。

スライド印字面の品質は印字品質を決定します。スライド表面の品質が低い場合、設定を変更しても印字品質は向上しません。

トラブルシューティングを行うときは、問題のスライドを、高品質で一貫した印字結果が得られることが分かっている別のスライドタイプと比較してください。

スライドの種類が違う場合は、別の加熱設定が必要な場合があります。可能な限り低い加熱設定を使用することが重要です。

品質の問題を診断するには、次の表を使用してください。

エラー/状態

考えられる原因



スマッジング（インキ擦れ）。
加熱温度が高すぎるか、印字ヘッドのクリーニングが必要であることを示しています。



スマッジングが消えるまで加熱設定を下げてみてください。スマッジングが消えない場合は、印字ヘッドに破片が付着しており、スライド表面からの熱放散が妨げられている可能性があります。



文字の濃さが違う部分。表面が不均一または一貫していないために起こります。低品質のスライド、欠陥のあるスライド、または加熱印字非対応のスライド（インクジェット）が原因である可能性があります。

加熱設定は調節しないでください。



横線が引かれて文字が消える。
スライド上に小さな隆起があると、このエラーが発生します。印字ヘッド全体が持ち上がり、バンプの効果がバンプの左右に拡張されます。スライドが低品質であるか欠陥があることが原因である可能性があります。

または、テープが印字ヘッドに引きずられていることが原因の場合もあります。このエラーは、加熱設定が高すぎることを示している可能性があります。このエラーが何度も発生する場合は、加熱設定を減らしてください。



印字が消えた部分が無作為に生じる（印字表面に傷は付いていない）。印字表面が粗いとこのエラーが発生します。低品質のスライド、欠陥のあるスライド、または加熱印字非対応のスライド（インクジェット）が原因である可能性があります。

加熱設定は調節しないでください。

複数の印字ミススポットがある。スライド上に細かなホコリが付着しているのが原因である可能性があります。スライドをきれいな状態にしてください。スライドは常に青色のスライドカートリッジに保存してください。スライドを素手で触らないでください。スライドを青いカートリッジに挿入するまでは、シュリンク包装からを取り出さないでください。

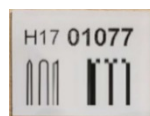
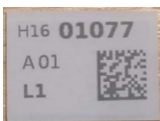
縦線が引かれて文字が消える。印字全体に縦線が通っているのは、印字ヘッドの焼付ラインのほこりやごみが原因です。



これがすべてのスライドで見られる場合は、印字ヘッドのクリーニングが必要かもしれません。テープを取り外し、クリーニング綿棒（部品番号***）でヘッドをクリーニングします。

クリーニング後も線が入る場合は、印字ヘッドが損傷しており、交換が必要です。

印字が薄い。印字が一貫して薄いのは、加熱が不十分であるか、サーマル印字非対応のスライド（インクジェット）によって引き起こされます。加熱設定を増やすことで品質を改善することができる可能性があります。



縦線が引かれて文字が消える。印字ヘッドを回路基板に接続するリボンケーブルの接続の故障または不良が原因です。

リボンケーブルを回路基板と印字ヘッドのコネクタに静かに押し込んでみてください。

リボンケーブルを再接続して、コネクタが完全に接続されていることを確認してください。

問題が解決しない場合は、リボンケーブルを交換してください。

上記の解決方法を行う前に、プリンタの電源をオフにしてください。

印字/データが抜けている。印字ヘッドを回路基板に接続するリボンケーブルの接続の故障または不良が原因として考えられます。接続が正しくないと、この状態になったり縦線が入ったりする可能性があります。正しいデータがプリンタに送信されていない可能性もあるので、最初に内容を確認してください。

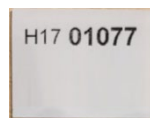
送信したデータと表示される画像が正しいことを確認します。

リボンケーブルを回路基板と印字ヘッドのコネクタに静かに押し込んでみてください。

リボンケーブルを再接続して、コネクタが完全に接続されていることを確認してください。

問題が解決しない場合は、リボンケーブルを交換してください。

上記の解決方法を行う前に、プリンタの電源をオフにしてください。



スライド要件

フロストコーティングされたスライドを使用してください。フロストコーティングされた部分の長さが20mmのものである必要があります。コーティングの厚さがスライドの幅全体で均一でなければなりません。SlideMate Proスライドプリンタは熱転写印刷技術を使用します。この印刷技術には、インクジェット技術プリンタで使用されるスライドと比較して、スライド表面のフロストコーティング仕上げと清潔度に関する厳しい基準が求められます。コーティングは滑らかで、ごみやほこりが含まれないようにする必要があります。そうでない場合は、印字に欠陥が発生します。

リボンの燃焼 – 考えられる原因

- 加熱設定が高すぎます。
- 「印刷品質のセットアップ」に従ってください。サニティチェックを通して高品質であることが分かっているスライドを使用してください。
- 取り付けた印字ヘッドに設定された抵抗力が正しくありません
- 印字ヘッドの抵抗力がプリンタ設定で入力したものと同じであることを確認します。
- 印字ヘッドにごみが溜まっています
- ヘッドがスライド面に接触していない場合、スライド面が不均一であると、ローカルテープが焼け付く可能性があります
- 下の画像例では、片側の印字が薄く、その下はテープが焼け付いています。これにより、溶けたテープがヘッド部分に蓄積します。



- 印字ヘッドがごみが付着したままスライドに対して動くと、エアギャップが発生します。熱がスライドに伝達せず、ヘッドが過熱します。
- リボンを取り出し、上下から印字ヘッドを点検します。
- 印字ヘッドがスライドと完全に接触していません。
- これは、印字ヘッドにごみが付いていることが原因である可能性があります。また、この状態ではスライドが詰まる可能性があります。
- これを回避するには、スライド回収ガイドにスライドを10枚以上溜めておかないことが重要です。
- プリンタは回収ガイドのスライドの蓄積を検出できません。プリンタから出てくるスライドを検出します。
- スライドのバックアップを許可すると、最終的にスライドがプリンタから出るときに詰まりを引き起こすのを防ぎます。
- スライドが印字機構から出ない場合、次のスライドが下のストッパーを通して落下し、印字の位置が正しくなくなります。この状態では、印字ヘッドが空気中で印字され、リボンが溶けたり破損したりする原因となります。



- ヘッドのクリーニングが必要になるので、印字ヘッドの修理プロセスに従う必要があります。

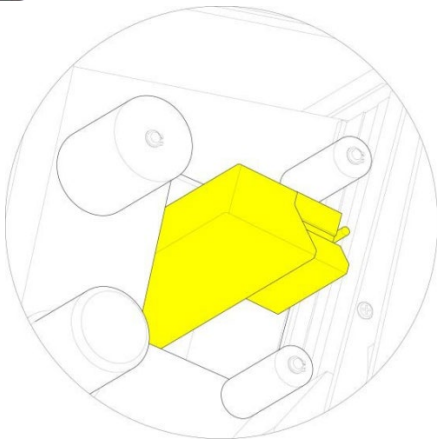
印字ヘッドのクリーニング

印字ヘッドのクリーニングは、リボンの交換毎または次のいずれかが発生した場合に行う必要があります。

- スライドの印字に汚れが見られる。
- プリントリボンが焼き切れたり、リボンが上下逆さまに取り付けられたりした場合。
- 品質が以前に観察した水準と同じでない場合、ほとんどの印字品質の問題はスライドの印字面が原因です。考えられる原因を調べるには、最初に印字品質のトラブルシューティングを確認してください。



印字ヘッドの表面を素手で触らないでください。



印字リボンをプリンタから取り外します

SlideMateクリーニングキット（部品番号 A83910008）から綿棒を取り出し、綿棒の端でチューブを曲げて溶液を放出します。印字ヘッドの印字面の端（印字ヘッドがスライドに接触する部分）を綿棒でしっかりとこすります。残留物が見えなくなるまでこの作業を数回行います。

リボンを取り付ける前に、印字ヘッドを2分間乾燥させます。

印字ヘッドの修理プロセス

印字ヘッドは、加熱設定が機能しないモードだとスタックする可能性があります。これはヘッドの過熱が原因で起こります。リボンが焼き付いた場合は、次のプロセスを使用して印字ヘッドを修理します。

1. 印字ヘッドをクリーニングして、汚れがないようにします。
2. テンプレートを選択し、加熱設定を可能な限り低い設定に下げます。
3. スライドを 3～4 枚印字します。
4. 印字が薄くなるかもしれませんが、それは気にせずに汚れの兆候がないか点検してください。
5. 加熱設定を少し高めて、別のスライドセットを印字します。
6. 汚れの兆候がないか注意深く確認してください。
7. 汚れの兆候が見られない、良質の印字ができるまでこれを繰り返します。何らかの兆候がある場合は熱を下げ、それでも問題が持続する場合は再度ヘッドを掃除し、最初から修理プロセスをやり直してください。

定期メンテナンス

Eprediaスライドプリンタでは、以下の定期メンテナンスを実行することが推奨されます。

毎日のメンテナンス

- スライドディスペンスホッパーにスライドを入れます。
- スライド供給システム、出口シュート、ユニットの周囲にガラス片が付いていればブラシで掃除します。

毎週のメンテナンス

- タッチスクリーンを清掃します。プリンタの電源をオフにして、柔らかい布にガラスクリーナーを付けて拭いてください。
- 残りの印字媒体の量を確認し、必要に応じて交換します。

年 1 回のメンテナンス

- 機器ソフトウェアを確認して更新します（新しいバージョンが利用可能な場合）。
- スライドプリンタからメモリスティックに xml ファイルを保存します。

必要に応じて行う

- リボンが何らかの理由で破損した場合は、POPule 綿棒を使用して印字ヘッドをクリーニングしてください。
- スライドプリンタの構成に変更を加えた場合は、xml ファイルのバックアップコピーを作成する必要があります。

エラーメッセージ

スライドプリンタは、標準のエラーメッセージを使用して、スライドプリンタの操作時に予想される問題をユーザーに通知します。このメッセージは、スライドプリンタで問題が発生したことをユーザーに警告し、修復と操作の継続をユーザーに通知することを目的としています。エラーや状態によっては、スライドプリンタまたはPCの電源を入れ直す必要がある場合があります。

リボンインデックスのエラー

リボンの移動が失敗した場合（エンコーダは移動を認識しません）、エラーが表示されます。

[OK]ボタンを押すと、すべてのモーターがホームに戻り、使用者は印字を再開できます。

エラーとして考えられる原因には以下のものがあります。

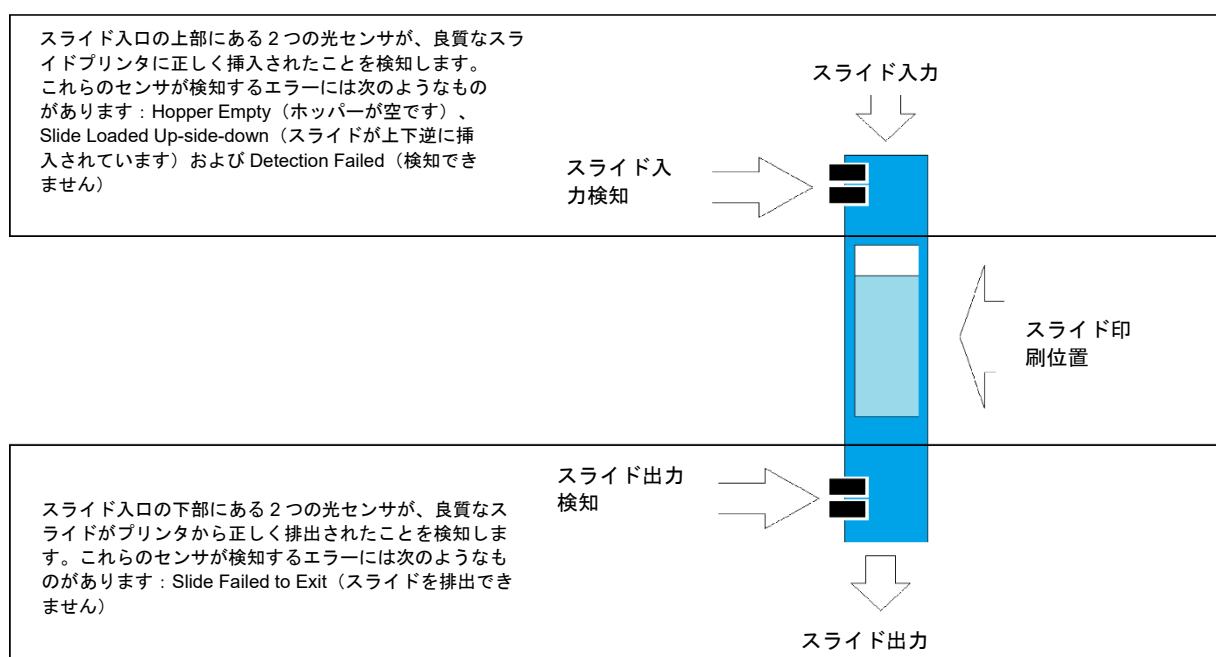
- プリンタのリボンが切れている
- リボンが破損した
- エンコーダホイールが停止している

こうしたエラーが発生すると、通常は出力シュートに未印字のスライドが出てきます。



スライドの取り扱いのエラー

スライドプリンタには、スライドが適切に挿入および排出されたかどうかを判定するいくつかの機能があります。プリンタメカニズム内の光学センサーは、適切な種類のスライドと、スライドが挿入されて出力シュートに正しく送られたことを識別します。複数ある光学センサーのいずれかが正しい動きを検出できなかった場合、エラーメッセージが表示されます。これらのメッセージは通常、スライドの不良または欠陥を示します。



ホッパーが空であるというエラーが報告される

このエラーは以下の場合に発生します

- スライドディスペンス ホッパーがスライドをディスペンスするように動作したが、進入を検知する光学センサーで何も検出されなかった。

考えられる原因

- スライドディスペンス ホッパーにスライドが入っていない。
- 印字可能なタブのないスライドがディスペンスされた。
- 光学センサーが正しく機能していない
- プリンタのスライド開口部に到達する前に、スライドがディスペンスアームから落ちている。
- スライドがディスペンスアームからプリンタの開口部に落ちなかった。



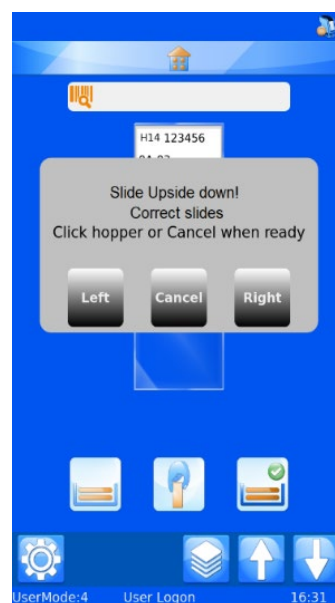
スライドが逆に積まれたため、エラーが報告される！

このエラーは以下の場合に発生します

- スライドの先端の直後にスライド印字パッドが検出されたとき。

考えられる原因

- スライドが、印字パッドがホッパー前面にある状態でホッパーに取り付けられている。
- 本プリンタで使用できない、特殊なシルクスクリーン印字のスライドが挿入されている
- 光学センサーが汚れている。
- 光学センサーが正しく機能していない



検出に失敗したと報告されたエラー！

このエラーは以下の場合に発生します

- スライド進入光学センサーがプリンタ内への進入を検知するが、スライドが適切に挿入されたかどうかは判定できない。

考えられる原因

- スライドの塗装面が薄い
- スライドが破損している可能性がある
- 本プリンタで使用できない、特殊なシルクスクリーン印字のスライドが挿入されている
- 光学センサーが正しく機能していない

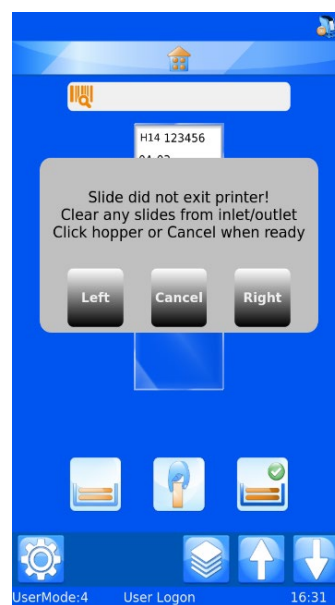
スライドの排出が失敗したというエラーが報告される！

このエラーは以下の場合に発生します

- スライド出口光学センサーが印字の成功後にプリンタから出るスライドを検出しない場合。

考えられる原因

- リボンが印字ヘッドピンの周りを正しく通っていない。
- 高熱が原因でリボンが焼き付く
- ワックスやガラスの破片がスライドの落下を妨げている



ホッパーが詰まっているというエラーが報告される

このエラーは以下の場合に発生します

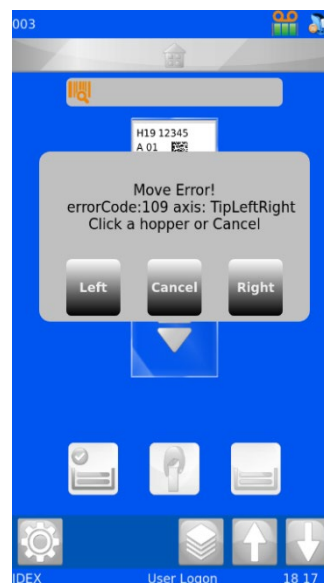
- スライドディスペンス モーターがディスペンスアセンブリを出し入れできない

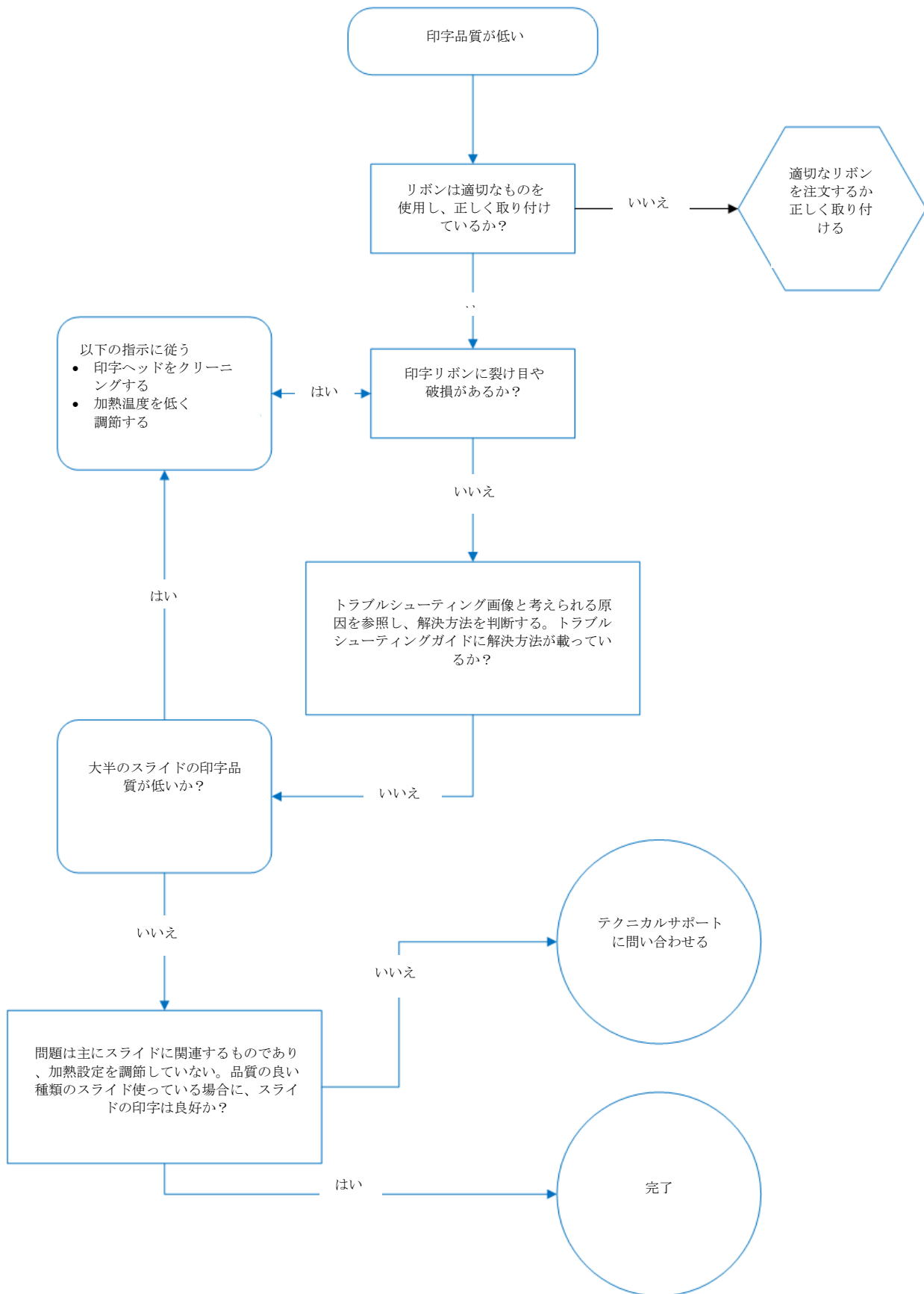
考えられる原因

- 特定の種類のスライドで、スライド同士がくっついている
- ディスペンスホッパーがスライド供給システムにしっかり装着されていない
- スライドディスペンス モーターが破損している



OKを押す前に、ホッパーまたはシュートにスライドが詰まっているか確認してください





トラブルシューティング表

エラー/状態	考えられる原因	解決方法
スイッチをオンにしても画面が空白になる	主電源リードが未接続になっている	主電源リードを機器に接続し、「操作を始める」の手順を参照してください。
	主電源ソケットのスイッチがオンになっていない	主電源ソケットのスイッチをオンにする
	主電源のヒューズが切れている	主電源リードアダプタのヒューズを変更する
タッチスクリーンをタッチしても反応しない	タッチスクリーンが故障している可能性がある	機器の電源をオフにしてリセットしてから、再度オンにする。故障が続くようであれば、Eprediaサービス部門に問い合わせる。
機器がスライドに正しく印字しない	スライドが後部から前部に挿入される可能性がある	スライドが機器内に正しい位置で入っているか確認する。
	リボンが切れている	「リボンの交換」セクションを参照して、機器内のリボンを変更してください。
	リボンが正しく機器にセットされていない可能性がある	「リボンの交換」セクションを参照して、機器内のリボンを一度取り出してからセットし直す。
	印字ヘッドのクリーニングの必要がある可能性がある	「印字ヘッドのクリーニング」セクションを参照して、機器内のプリントヘッドを掃除する。
スライドが機器内で詰まっている	使用が承認されていないスライドを使っている	「付録A – 承認されているスライド」 を参照して、使用が承認されているスライドを使っていることを確認する。
	リボンのセットが間違っている	「リボンの交換」セクションを参照して、機器内のリボンを一度取り出してからセットし直す。
	スライド印字メカニズム内に動作を妨げる物が詰まっている可能性がある。	慎重に障害物を取り除いてみる。



問題がある場合は、お近くのEprediaサービス部門に問い合わせる。

アイコンの説明



[情報]



[フォルダ]



[日付/時刻]



[表示]



[追跡プロパティ]



[インターナショナル]



[キーボード]



[ネットワーク]



[プリンタ]



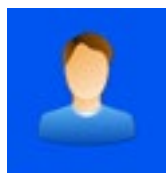
[データ]



[ソフトウェア]



[サウンド]



[ユーザー]



[アイテム]



[オブジェクト]



[テンプレート]



[トランスレーター]

ボタンの説明



[ホーム]



[設定]



[ごみ箱]



[キャンセル/削除]



[タブ]



[上]



[下]



[確認]



[編集]



[追加]



[シーケンス]



[プロトコル]



[アイテム]



[テンプレート]



[ルール]

プリンタの仕様	
寸法	幅160mm x 奥行332mm x 高さ408mm
重量	7.1Kg（電源部品なしで計測）
入力電圧	24V DC
電流	1.5A
印字解像度	300 dpi
印字速度	通常3～5秒（全領域を印字するまで）
スライド許容度	76.0mm – 76.2mm x 25.55mm – 26.00mm x 1.00mm – 1.20mm
環境	最大高度2,000m
	動作温度5°C～40°C
	推奨 +15°C ～ +30 °C（+59 °F ～ +86 °F） 推奨される動作環境条件から外れると、パフォーマンスが悪化する可能性があります
保管環境	-25°C ～ +45 °C（-13 °F ～ 113 °F）、短期間専用
相対湿度	最大 31°Cまで80%、RH 40°Cで50%RHまで直線的に減少
汚染	レベル2
過電圧カテゴリ	II

消耗品およびアクセサリ	
説明	部品番号
プリンタリボン	A83910001
電源アダプタ 入力：100-240V～1.1A、50-60Hz 出力：24V DC 1.5A	A83920013
主電源リード（英国）	A83920012
主電源リード（EU）	A83920011
主電源リード（米国）	A83920010
主電源リード（中国）	A83920057
主電源リード（日本）	A83920058
印字ヘッドクリーニングキット	A83910008
スライドディスプレイスホッパー	A83910011

クリーニングとメンテナンス

SlideMate Proの推奨メンテナンススケジュールは以下の通りです。

毎日のメンテナンス

注記

ガラスの粉や破片から保護するために、次の作業を行うときは保護具を着用してください。

- 一日の作業終了時に、スライドプリンタの電源を切ってから、左右のホッパーを取り外し、クリーニング用のアルコール系クロスで4本のスライドスタックサポートピンを拭きます。
- 一日の作業開始時に、スライドプリンタの電源を入れます。
- スライドディスペンスホッパーにスライドを入れます。

毎週のメンテナンス

- SlideMate Pro の電源を切ってから、手でリードスクリューを回してスライドシャトルを左側に動かし、リードスクリューに付いているガラスの破片を払い落します。ワックスが蓄積している場合は、必ず除去してください。通常、紙ウエスまたは糸くずの出ない布を使用してプリンタからワックスを拭き取ります。
- クリーニング用のアルコール系クロスで、シャトルシステムの下にあるガラスの破片を拭き取ります。
- 手でリードスクリューを回してスライドシャトルを右側に動かし、クリーニング用のアルコール系クロスで、シャトルシステムの下にあるガラスの破片を拭き取ります。
- タッチスクリーンをクリーニングします（電源を切って、柔らかい布とガラス用洗剤で拭く）。

必要時

- 何らかの理由でリボンが切れた場合、POPule綿棒を使って印字ヘッドをクリーニングします。
- スライドプリンタ構成を変更する場合、xmlファイルのバックアップコピーを作成する必要があります。

付録

付録 A – 承認済みのスライド

説明

接着スライド

- Epredia Superfrost™ PLUS
- Epredia Colorfrost™ PLUS
- Epredia Superfrost™ Excell™
- Epredia Superfrost™ PLUS Gold
- Epredia Polysine™
- Epredia Permafrost™ Economy

非接着スライド

- Epredia Superfrost™
- Epredia Colorfrost™
- Epredia Permafrost™ Economy

付録 B – Windows ドライバー のセットアップ

本スライドプリンタには、特別なラベルをデザインして印刷できるオンボードソフトウェアがインストールされています。プリンタは、さまざまな種類のファイルを受信することで、LISおよびその他のソフトウェアシステムとインターフェイス通信できます。

最も一般的な接続方法は、Windows ドライバー内のシステムに含まれています。他の種類のファイルは、他のWindows プリンタドライバを使用して本プリンタに送信できます。通常、プリンタへのインターフェイス通信は、画像ファイルまたはテキストファイルを使用して実行されます。

本プリンタは、スライドプリンタに必要なソフトウェアの介入なしに、すぐに画像ファイルを印字します。本プリンタに送信されるテキストファイルの使用には、スライドプリンタ内のトランスレータとテンプレートのセットアップが必要です。上記の設定に関する情報は、「SlideMate Pro プリンタ操作ガイド」に記載しています。

Windows プリンタセットアップ

本スライドプリンタは、ラベルデザインプログラムまたはLISシステムでデザインおよび作成したラベルを印字するようにセットアップすることができます。こうしたラベルは、ビットマップ画像またはテキストとして設計し、プリンタに送信する必要があります。

これらのラベルを印刷するプロセスは、Windows®ドライバを使用してコンピュータからデスクトッププリンタに印刷し、キューを管理し、プリンタに画像またはテキストファイルを送信するやり方に似ています。PCまたはサーバーからプリンタへの接続は、USBまたはイーサネット接続で、Pyramid Innovation Ltd Windows プリンタドライバを使用して自動的にセットアップおよび構成できます。

本スライドプリンタのハードウェアはデジタル署名されており、以下のMicrosoft Windows®オペレーティングシステムに対応します。Windows 7、Windows 8、Windows 10（32ビット版および64ビット版の両オペレーティングシステム）。使用される接続方法は、操作や機能に影響を与えません。

。すべての印字操作は、USB接続またはイーサネット接続を使用して実行できます。

新しいWindows プリンタのインストール方法は2通りあります。

Windows プリンタを手動でインストールする

1. セットアップファイルを右クリックし、[管理者として実行]を選択して、インストールプロセスの指示に従います。
2. インストールが完了したら、プリンタのプロパティを開いて[印刷のテスト]を押し、1つのスライドサンプルを本プリンタに送信して印字してください。

自動プリンタインストーラーを使用する

1. [デバイスとプリンタ]で、プリンタを追加します。
2. プリンタが一覧に表示されない場合は、[プリンタが見つからない]ボタンを押します。
3. [手動設定でローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する]を選択します。
4. 有効なプリンタ接続を選択します。
 - a) イーサネットを使用している場合は、プリンタのIPアドレスが表示されなければ、新規ポートを作成する必要がある場合があります。
5. [次へ]を押します。

本プリンタが一覧に表示されない場合は、[Windows Update]ボタンを押して、Microsoftのサイトで正しいドライバを検索してください。

更新には数分かかります。

6. 検索が完了したら、メーカーとプリンタモデルの一覧が表示されます。
7. [メーカー]でメーカーを選択し、[プリンタ]ウィンドウで正しいプリンタを選択します。
8. [現在のドライバーを交換する]を選択します
9. [次へ]を押します
10. 必要に応じてプリンタ名を変更します
11. [次へ]を押します
12. 必要に応じて変更を加え、[次へ]を押します
13. 完了したら、[完了]を押します
14. [デバイスとプリンタ]に移動します
[FT000X USB 12C]アイコンを右クリックします

アイコンを表示するには、ケーブルをプリンタに接続する必要があります。

[プロパティとハードウェア]を選択します。
15. [USB シリアルコンバータおよび詳細設定]を選択します。
[MCP の読み込み]チェックボックスがオンになっていることを確認し、[OK]を選択します。

Windows ドライバーの構成

Hot Folderをセットアップするには：

1. [選択]を押します

Windowsのフォルダの参照ウィンドウが表示されるので、ファイルの転送に使用されるフォルダへの正しいパスを設定します。

[OK]を押します。

Hot Folderが設定されました。

Pyramid Innovation Ltd Windows ドライバーを使用し て印字する

イメージファイルの印字

ドライバーはすべての画像ファイルの印字に使用されます。これらの画像は、多くの種類のプログラムで作成できます。これらの一部には、Nicelabel、Zebra、Wasp Label Printing ソフトウェアと多くの LIS システムが含まれます。

Microsoft Word などのその他のプログラムは、情報をプリンタへの送信に使用できます。これらのプログラムはすべて、PI Windows ドライバーを介してラベルをスライドプリンタに送信できます。

ドライバーをインストールしたら、Windows プリンタからの画像を受け入れるようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定] ボタンを押します
2. [構成] ボタンを押します
3. [データ] ボタンを押します
4. [インポート] ボタンを押します
5. [PI プリンタドライバーのフォルダ] ボタンを押します
6. [Windows ビットマップ] ボタンを押します
7. [チェック] ボタンを押します

これで、プリンタは PC から画像を受け入れることができるようになります。画像ファイルを Windows プリンタに送信すると、スライドプリンタの印字キューに表示されます。

Zebra のフォーマットファイルを使用 して印字する

Windows ドライバーを使用して、Zebra のフォーマットテキストファイルをスライドプリンタに送信できます。これらのファイルには、スライドプリンタにトランスレーターとテンプレートを設定する必要があります。

スライドプリンタは、ファイルを受信すると、すべての書式設定文字を削除し、テンプレートに印刷するための標本 ID データを配信します。

Windows ドライバー内の Hot Folder も設定する必要があります。このフォルダは、スライドが印字されるように注文されるときにテキストファイルが配置される場所です。これは、キャッシュフォルダとも呼ばれます。

ドライバーをインストールして構成したら、Windows プリンターからの画像を受信するようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定] ボタンを押します
2. [構成] ボタンを押します
3. [データ] ボタンを押します
4. [インポート] ボタンを押します
5. [プリンタドライバーのフォルダ] ボタンを押します
6. [Zebra] ボタンを押します
7. [現在のテンプレートを使用] または [テンプレート] を選択します。

[現在のテンプレートを使用する] が選択されている場合、データのインポート時にアクティブなテンプレートが使用されます。

[テンプレート]が選択されている場合、zebraファイルがプリンタに送信されるときにデフォルトで使用されるテンプレートを選択できます。

8. [テンプレート]ボタンを押します
9. 使用するテンプレートを選択します
10. [チェック]ボタンを押します
11. [ホーム]ボタンを押します

これで、プリンタはPCからZebraのフォーマットファイルを受信できるようになります。ZebraテキストファイルはHot Folderに保存する必要があります。Windowsプリンタドライバは、ファイルをスライドプリンタに自動的に送信します。保存すると、スライドプリンタの前面に表示されます。

区切り文字テキストファイルを使用して印字する

ドライバを使用して、区切り文字のテキスト形式ファイルをスライドプリンタに送信できます。これらのファイルには、スライドプリンタにトランスレータとテンプレートを設定する必要があります。スライドプリンタは、ファイルを受信すると、すべての書式設定文字を削除し、テンプレートに印刷するためのサンプルデータを配信します。

Windowsドライバ内のHot Folderも設定する必要があります。このフォルダは、スライドが印字されるように注文されるときにテキストファイルが配置される場所です。これは、キャッシュフォルダとも呼ばれます。

ドライバをインストールして構成したら、Windowsプリンタからの区切り文字テキスト形式ファイルを受信するようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定]ボタンを押します
2. [構成]ボタンを押します
3. [データ]ボタンを押します

4. [インポート]ボタンを押します
5. [PI プリンタドライバのフォルダ]ボタンを押します
6. [区切り文字テキスト]ボタンを押します
7. [現在のテンプレートを使用]または[テンプレート]を選択します。

[現在のテンプレートを使用]が選択されている場合、データのインポート時にアクティブなテンプレートが使用されます。

[テンプレート]が選択されている場合、区切り文字テキスト形式のファイルがプリンタに送信されるときにデフォルトで使用されるテンプレートを選択できます。

1. [テンプレート]ボタンを押します
2. 使用するテンプレートを選択します
3. [チェック]ボタンを押します
4. [ホーム]ボタンを押します

これで、プリンタはPCから区切り文字テキスト形式ファイルを受信できるようになります。テキストファイルをHot Folderに送信すると、それがスライドプリンタの前面に表示されます。

その他の Windows プリンタドライバを使用して印字する

Zebra のフォーマットファイルを使用して印字する

スライドプリンタは、Zebra Windowsプリンタから直接Zebra形式のテキストファイルを受信するように設定できます。これらのファイルには、スライドプリンタにトランスレーターとテンプレートを設定する必要があります。

スライドプリンタは、ファイルを受信すると、すべての書式設定文字を削除し、テンプレートに印刷するための標準IDデータを配信します。

WindowsプリンタはZebraドライバーを使用して構成する必要があります。このプロセスは本ガイドでは定義されていません。Windowsプリンタをセットアップしたら、ファイルを受信できるようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定]ボタンを押します
2. [構成]ボタンを押します
3. [データ]ボタンを押します
4. [インポート]ボタンを押します
5. [その他のプリンタドライバー]ボタンを押します
6. [Zebra]ボタンを押します
7. [現在のテンプレートを使用]または[テンプレート]を選択します。

[現在のテンプレートを使用する]が選択されている場合、データのインポート時にアクティブなテンプレートが使用されます。

[テンプレート]が選択されている場合、zebraファイルがプリンタに送信されるときにデフォルトで使用されるテンプレートを選択できます。

[チェック]ボタンを押します

1. [テンプレート]ボタンを押します
2. 使用するテンプレートを選択します
3. [チェック]ボタンを押します
4. [ホーム]ボタンを押します

これで、プリンタはPCからZebraのフォーマットファイルを受信できるようになります。印刷ジョブはZebra Windowsプリンタに送信され、スライドプリンタ前面に表示されます。

Zebra EPL 形式のファイルを使用して印字する

ドライバーを使用して、Zebra EPL形式ファイルをスライドプリンタに直接送信できます。これらのファイルには、スライドプリンタにトランスレーターとテンプレートを設定する必要があります。

スライドプリンタは、ファイルを受信すると、すべての書式設定文字を削除し、テンプレートに印刷するためのサンプルデータを配信します。印刷ジョブはZebra Windowsプリンタに送信され、スライドプリンタに直接表示されます。

WindowsプリンタはZebraドライバーを使用して構成する必要があります。このプロセスは本ガイドでは定義されていません。Windowsプリンタをセットアップしたら、ファイルを受信できるようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定]ボタンを押します
2. [構成]ボタンを押します
3. [データ]ボタンを押します
4. [インポート]ボタンを押します
5. [その他のプリンタドライバー]ボタンを押します
6. [Zebra EPL]ボタンを押します

これで、プリンタはPCからZebra EPLファイルを受信できるようになります。Zebra EPL印刷ジョブをZebra Windowsプリンタに送信すると、スライドプリンタ前面にジョブが表示されます。

SlideMate Images (LabWriter)

このドライバーは、Epredia LabWriterソフトウェアで作成した印字イメージファイルに使用します。LabWriterソフトウェアのインストールとセットアップに関する情報については、お近くのEpredia取扱店にお問い合わせください。

LabWriterをインストールしたら、LabWriterイメージを受信できるようにスライドプリンタを設定する必要があります。

1. [設定]ボタンを押します
2. [構成]ボタンを押します
3. [データ]ボタンを押します
4. [インポート]ボタンを押します
5. [その他のプリンタドライバー]ボタンを押します
6. [SlideMate]ボタンを押します
7. [チェックボタン]を押します

これで、プリンタはPCから画像を受け入れることができるようになります。LabWriterがイメージを送信すると、スライドプリンタの前面に表示されます。

索引

E

EMC 適合宣言書..... 7

W

Windows プリンタセットアップ..... 37

あ

[アイテム]メニュー..... 41

アメリカ合衆国内の販売代理店..... 4

安全に関する情報

環境..... 9

安全性..... 8

一般..... 8

安全に関する情報..... 8

一般的安全性..... 8

化学物質の取り扱いに関する安全規則..... 9

はじめに..... 8

保証宣言書..... 9

い

印字ヘッドのクリーニング..... 84

印字ヘッドの修理プロセス..... 84

[インターナショナル]メニュー..... 26

え

エラーメッセージ..... 85

スライドの取り扱いのエラー..... 86

リボンインデックスのエラー..... 85

お

[音声]メニュー..... 36

か

会社情報..... 4

[概要]メニュー..... 24

各部品の名称

背面パネルおよび接続部..... 11

き

[キーボード]メニュー..... 27

[IP アドレス]..... 28

[MAC アドレス]..... 28

[データポート]..... 28

[名前]..... 28

[ハブに接続]..... 28

記号..... 4

く

クリーニングとメンテナンス..... 95

毎日のメンテナンス..... 95

メンテナンス作業..... 95

こ

[構成]メニュー..... 37

高度な印字機能..... 61

スライドシーケンスの作成..... 62

高度なホッパー機能..... 70

トランスレーターのルール..... 71

高度な印字機能

テンプレートエディタ..... 61

[固定長トランスレーター]..... 50

[データ文字列を分割する]..... 52

トランスレーターの追加 - 固定長データ..... 50

さ

索引..... 103

し

消耗品およびアクセサリ..... 94

す

スキャナ..... 12

[スキャナ]メニュー

XML 構成ファイル.....	33, 34
プリンタのユーザー構成のインポート (XML)	35
スライドの印字.....	21
逆順で印字する	22
キュー内のスライドの削除	23
スライドキュー数量.....	23
スライドディスプレイの操作.....	21
スライドの一括印字.....	22

せ

[設定]メニュー.....	23
---------------	----

そ

プリンタの操作.....	12
[ソフトウェア]メニュー	31
ソフトウェアのアップグレード.....	31

て

定期メンテナンス	85
[データ]メニュー.....	38
[テンプレート].....	55
アイテムをテンプレートに追加	58
新規テンプレートの作成.....	55
テンプレートの編集.....	57
[テンプレート設定].....	60
バーコードをテンプレートに追加.....	59

と

トラブルシューティング	
アイコンの説明	92
スライド要件.....	83
ボタンの説明.....	93
リボンの燃焼 - 考えられる原因.....	83
トラブルシューティング表.....	91
トランスレーター	43
トランスレーターの追加 - 区切りデータ	44
[アイテム割り当て].....	46
区切り文字	48
[トランスレーターのプロパティ]メニュー	48
[トランスレーター]メニュー.....	45
[割り当て順].....	49

ね

[ネットワーク]メニュー.....	27
-------------------	----

は

はじめに	
推奨される清掃方法	10
推奨されるプリンタの構成.....	10
推奨の開始方法.....	10

ひ

[日付と時刻]メニュー	24
[表示]メニュー.....	25
スクリーンショット	25
標準ラベルデザインのセットアップ.....	40

ふ

部品の特定	81
部品の特定	11
プリンタの仕様.....	94
プリンタの操作	
スライドの選択.....	15
スライドの装填.....	14
リボンメーター.....	13
[プリンタ]メニュー.....	29
[インデックスステープ].....	29
[インテリジェントスライド選択].....	30
[画像に表示].....	30
[自動印字オン].....	30
[セットアップパスワードをオンにする].....	29
[空の左ホッパーを使用する].....	30
[高さ].....	30
[幅].....	30
[プリンタのリセット].....	29
付録.....	96
Epredia Windows ドライバーを使用して印字する	
イメージファイルの印字.....	99
区切り文字テキストファイルを使用して印字する	100
Pyramid Innovation Ltd Windows ドライバーを使用して印字する	99

Pyramid Innovation Windows ドライバーを使用して 印字する	
Zebra のフォーマットファイルを使用して印字 する	99
Windows プリンタセットアップ	97
Windows プリンタを手動でインストールする	97
自動プリンタインストーラーを使用する	97
その他の Windows プリンタドライバを使用して 印字する	
SlideMate Images (LabWriter)	102
その他の Windows プリンタドライバを使用して 印字する	101
Zebra EPL 形式のファイルを使用して印字する	101
Zebra のフォーマットファイルを使用して印字 する	101
付録 A – 承認済みのスライド	96
説明	96
付録 B – Windows ドライバーのセットアップ	97
プロトコルの作成	64

ほ

ホーム画面	19
-------------	----

本ガイドの使用方法	10
操作を始める	10
はじめに	10, 15

め

メインユーザーインターフェース	16
ユーザープロパティ	18
ユーザーモード – 新規ユーザーの追加	16
ユーザーログイン	17
ユーザー制御	19
[インターナショナル]メニュー	
言語	26

れ

連絡先	4
-----------	---

ろ

ログオンタイムアウト	19
------------------	----



www.epredia.com



Tudor Road, Manor Park
Runcorn, WA7 1TA

英国

+44 (0) 800 018 9396

+44 (0) 1928 534 000

4481 Campus Drive
Kalamazoo, MI 49008

米国

+1 (800) 522-7270



Enhancing precision
cancer diagnostics